1 事業者の氏名等

事(法及)	業 え 人に び代え	者の表者) 氏 ては名 の氏	名 (称 名)	東京代表	まガ. 長取	ス不 締役	動産	5株. 長	式会社 小林 裕明
事	業	者	番	号	A	0	6	4	5	

2 報告する事業所等の全体の状況(2018年度)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	3,149	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	84	kl

3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル 2

4 事業者としての取組

取組方針

当社は「東京ガスグループは、かけがえのない自然を大切に資源・エネルギーの環境に調和した利用により地域と地球の環境保全を積極的に推進し社会の持続的発展に貢献する」という環境理念のもと、循環型社会の形成に向けて、効率的・効果的な環境マネジメント活動を展開し、事業活動における資源・エネルギーの使用原単位を継続的に低減するとともに、廃棄物等の発生抑制・再使用・再資源化とグリーン購入を積極的に推進し、環境負荷を総合的に低減させる。

		重点対策		その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A104	取組状況の点検体制の構築	A101	地球温暖化対策の方針等の設定
組織体制の	A108	組織横断的な推進体制の整備	A102	温暖化対策推進担当の配置
整備の状況			A103	具体的な取組目標と内容の設定
			A107	排出状況の整理・分析・提供
			A111	全従業員に温暖化対策情報の提供
			A113	推進担当者の知識向上・内部還元

5 特記事項

2019年4月1日より会社名が「東京ガス都市開発株式会社」から「東京ガス不動産株式会社」へ変更になりました。



1 事業所等の概要

					_		_	_	_	_	_	_		_	_		_		_		_
事	業所	等の	名称	TG	墨田	ピル	,														
事	業	所	番号	A	0	6	4	5	-	0	0	0	3								
				Ŧ	1	3	1	-	0	0	4	6	区	市町	村	名墨	田区				
事	業所	等の原	近在 地	町以	名番	地下	京島	-1-4	7-10												
事	業所等	等の延.	床面積		2,	507	.42	m^2	事工	業所ネル	等レギ	の _	実施使	漬 年	度期	の間■	1年	度分] 1年	F未満
所	有	形	態		自己	所	有		一他	1者月	f有	7									
報	告	範			建物	カの生	全部		〕 葅	き物の)一音	部(ラ	テナ	ント)			建物の	り一音	写(そ	の他	<u>l</u>)
報	告範囲	の主た	る用途		事務工場						商業 複合			物販)			商業がその他		飲食	E)	
			業分類 類番号		9	1	1	連	鎖化	匕事美	美区2	分		直泊	営店		加盟	显店	1	非	該当
前か			告 内 容 更 点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	143	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑩)	2	279	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	(3)	5	t
	総計(④=②+③)	1	284	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<u> </u>	111.2	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計	N - 1			熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
	## + . LS			7	6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(ii)=(8)×(9)×44/12
쌂	都市ガス			Nm ³	42,094.9	45.00	1,894.3	0.014	94.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
31/15	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^\	その他の買電(松夜)	間不明の場合を含む。)		kWh	377,471.0	9.76	3,684.1	0.489	184.6
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					5,578.4		279.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	7,641.0			0.251	1.9
他	公共下水道			m^3	7,641.0	/		0.439	3.4
		合 計							5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
組糸	織体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
)	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
文 /	71 1/1 1/2 1/2 1/2 1/2			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理		
省エネルギー	運 用 対 策	Diol	こっぱがの党組がおませる権	Ding	2. ①加乳供の空期/h/s/同空、互协
対対		D101	ランプ等の定期的な清掃·交換 中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備保守対策	D103			
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E122	給湯の温水配管の保温の実施
		E114	高効率パッケージの採用	E137	高効率変圧器への更新・台数集約
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

宝徳年度の日輝遠式の出知	□ 目標達成した。
実績年度の目標達成の状況	口日保建成した。

提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		$ m kg\text{-}CO_2/m^2$	CO2排出量(総量)	Y -	t
	その他	特記事項に内	内容を記載			

特記事項 6

- ■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E102蛍光灯の電子安定器採用(屋内)
- E102 E106 高効率照明ランプの採用(屋外) E108 高効率照明器具の採用(屋外) E112 空調用高効率冷凍機の採用

- E119潜熱回収型給湯器問の導入E125高輝度誘導灯の導入

1 事業所等の概要

	4 >1	121 14	و بالادارة		_			_														
事	業所	等(の名	称	ТG	多摩	東比	ごル														
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	0		4							
事	業所	等の	所 在	地	町以	1 名 番	8 地下	4 前原	[5-	0 6-9	0	1	3	Þ	区市口	町村	名	小金扌	‡市			
事	業所等	節の延	床面	積		2,	316	.00	m^2						: 績 ^在 使 用			1	年度分		□ 1	年未満
所	有	Ŧ	形	態		自己	上所不	Í	[□ 他	1者月	斤有										
報	告	É	ث	囲		建物	のの全	产部	[] 建	性物の)—;	部(テっ	ナント)		建物	物の一	部(-	その	他)
報	告範囲	の主	たる用	途		事務 工場						商業複合			(物販	į)		商業	業施設 つ他	(飲	食)	
	本標				6	9	1	1	通	運鎖化	匕事	集区	分	I	□直	営店	:	口力	叩盟店	1		非該当
前か	年度 ら 0				【追え エネ 運用	対温暖 加収ギ 別が対策 加対策	目(重 一等 ::C8 目(そ	点対 の使 11 の他	け策) 用状	】 :況の			3									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	106	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	207	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t
	総計(④=②+③)	1	208	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<u> </u>	89.3	kg - CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計	-			熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			IX/II		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	@=8×9×44/12
LAIN	都市ガス			Nm ³	32,407.1	45.00	1,458.3	0.014	72.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0	· ·		-	
Tris	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
/ \(\dot\)	その他の買電(昼夜)	間不明の場合を含む。)		kWh	275,115.0	9.76	2,685.1	0.489	134.5
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					w 4,143.4		207.3
その	水道及び工業	用水道		m ³	2,466.0			0.251	0.6
の他	公共下水道			m^3	2,466.0			0.439	1.1
		合 計							1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
組組	織体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
H) 18 tota	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
	11 -07 DE -> 1C 1\(\overline{\text{T}}\)			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C109	空室・不在時等の空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	運 用 対 策			C801	共用部照明のフロアごとの管理
省				C812	自動販売機の不要時の停止
日工				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ネル				C806	その他設備の不使用時の停止
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
中	放佣体引为风	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E125	高輝度誘導灯の導入
	放	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E119潜熱回収型ガス給湯器等の導入
- E126窓際照明の連続調光制御
- E139進相コンデンサ等による力率改善
- E122給湯の温水配管の保温の実施
- 【平成30年度に実施した節電対策項目】
- ①照明 ・専用部、共用部照明器具の一部消灯
- ②その他
- ・暖房便座、エアタオルの使用禁止
- ・コピー機、複合機の利用台数制限
- ・冷水機、製氷機の利用中止
- ・不使用時、待機電力を使用する電気機器のコンセントを抜く
- ・OA機器の省エネモード設定

1 事業所等の概要

			-		_	_	_	_	_		_	_		_	_						_
事	業所	等の	名称	ТG	大森	アハ	<u>`</u> -(組合	事	答 所	棟)										
事	業	所 番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	0	5								
				₹	1	4	3	Ξ	0	0	1	5	区	市	町 村	名大	田区				
事	業所等	い 所	在地	町。以	名 番	· 地 下	大森	萨西5	-11	-1						7					
事	業所等	の延床	医面積		1,	288	.98	m^2	事工	業月ネノ	等レキ	の :	実 <i>i</i> 使	漬 ^左	F 度 期	の 間	1年	度分] 1年	未満
所	有	形	態		自己	所	有] 他	1者月	斤有										
報	告	範	囲		建物	カの 4	全部] 殞	き物の)—‡	部(ラ	テナ	ント)			建物	の一片	部(そ	の他	.)
報台	告範囲の	の主たる	5用途		事務工場						商業複合			物販	<u>;</u>)		商業その	施設(他	飲食	(3)	
	本 標 準 おける			6	9	1	1	連	鎖化	と事刻	業区;	分		直	営店	i [] 加	盟店		非	該当
	年 度 Ø ら の																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	58	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑩)	2	113	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0	t
	総計(④=②+③)	1	113	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	87.6	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用量	係数	(GJ) (B=(©/1000)×⑦	排出 係数 ®	排出量 ^{※1} (t) ®=®×®×44/12
141	都市ガス			Nm^3	28,241.8	45.00	1,270.9	0.014	63.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0	1 - 1			
2117	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	3,673.0	9.97	36.6	0.489	1.8
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	1,725.0	9.28	16.0	0.489	0.8
	その他の買電(昼夜)	出不明の場合を含む。)		kWh	97,106.0	9.76	947.8	0.489	47.5
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					2,271.3	/	113.5
その	水道及び工業	用水道		m ³	1,327.0			0.251	0.3
他	公共下水道			m^3	1,327.0	/		0.439	0.6
		合 計		- 11		/			0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
组系	畿体制の整備				
-		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C109	空室・不在時等の空調停止
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	運 用 対 策			C129	季節に応じた温度設定の見直し
/L>				C801	共用部照明のフロアごとの管理
省工	0			C808	温湿度の適正管理
ネル				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ギー		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対		D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	-D. /共 /岩 コ /が:	E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	頁□ 有 ■ 無					
	ベンチマーク区分	7	ランク	CO2削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	k	g-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	1	t
	その他	特記事項に内	容を記載			

特記事項 6

- ■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策) E122給湯の温水配管の保温の実施

【平成30年度節電対策項目】

- ·共用部照明器具減灯
- •入居テナントにて共用部照明フロア毎の管理

②空調

- ・フロアごとの温度の把握・設定
- ・共用部フロア毎の空調管理

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	TG	本組	3ビル	V															
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	0	6									
事	業所	等の	所有	主 地	〒 町: 以	1 名 番	1 計地 下	3 向丘	2-	0	0	2	3	区	市田	丁村	名	文京	区				
事	業所等	手の多	延床	面積		3,	102	.00	\mathbf{m}^2	事	業 月 ネ ノ	下等レキ	の	実 <i>i</i> 使	漬 年 ! 用	度期	の間		1年度	分		1年ラ	卡満
所	有		形	態		自己	別	有		〕他	也者原	听有											
報	告		範	囲		建物	りの(企部] 建	は物の)—‡	部(ラ	テナ	ント)			〕建	物の-	一部	(その	り他)	
報台	告範囲	の主	こたる)	用途		事務工場						商業複合			物販)			業施 の他	设 (食	欠食)		
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	匕事	業区:	分		直	営店	Î		加盟原	吉		非該	当
前か	年度らの	の報う変	战告 P	为 容 点		え温暖 加項 ルギ							3										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	76	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	148	t
二酸化炭素排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
	総計(④=②+③)	(1)	149	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	47.7	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{**1} (t)
_	r				6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(I)=(8)×(9)×44/12
464.	都市ガス			Nm ³	26,130.6	45.00	1,175.9	0.014	58.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
22.15	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~	その他の買電(昼夜	出不明の場合を含む。)		kWh	183,427.0	9.76	1,790.2	0.489	89.7
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	値 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					9 2,966.1		148.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,410.0			0.251	0.6
の他	公共下水道			\mathbf{m}^3	2,410.0	/		0.439	1.1
		合 計							1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
П		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
組組	織体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
-)	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
1 /	11 4/1 1/1 0/2 1/2 1/2			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C104	採光を利用した消灯の実施
		41		C109	空室・不在時等の空調停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	運用対策			C801	共用部照明のフロアごとの管理
省				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
日エネル				C806	その他設備の不使用時の停止
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
水	以州水门八水	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E130	全熱交換器の導入
	以用等八刈水			E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

□目標達成した。 実績年度の目標達成の状況

提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分	ラン	17	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg	$^{\circ}\mathrm{CO_{2}/m^{2}}$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

特記事項 6

- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E101 高効率照明ランプの採用(屋内)
- E119 潜熱回収型ガス給湯器等の導入
- E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E105 照明用人感センサの採用
- 【平成30年度に実施した節電対策項目】

①照明

- •専用部、共用部照明器具の一部消灯
- ②その他
- ・暖房便座、エアタオルの使用停止
- ・給茶機、自動販売機の停止
- ・コピー機、複合機の利用台数制限
- ·OA機器の省エネモード設定

1 事業所等の概要

_					_																	
事	業所	等	の 名	称	TG	杉並	Et'N															
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5		0	0	0	7								
					Ŧ	1	6	7	-	0	0	3	3	区	市町	村	名杉	並区				
事	業所	等の	所 在	⋷地	町:以	名 番	地下	清水	(1-	26-	8											
事	業所等	争の致	近床面	 1 積		3,	664	.00	m^2	事	業月ネノ	等レギ	の : _	実施	責年	度期	の 間	1 1年	连度分] 1	年未満
所	有		形	態		自己	上所る	有		〕他	1者月	斤有										
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕 殖	き物の) — ‡	部(ラ	テナ	ント)			建物	Ø)—⅓	部(そ	-の(也)
報	告範囲	の主	たる月	用途		事務工場						商業複合			勿販)			商業その	施設 他	飲食	E)	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖側	上事	美区:	分		直営	常店		力加	盟店	1	1 }	丰該当
前か	年度らの		と告 内 ② 更	7 容	エネ 【追z	え温暖 シルギ 加項 別対策	一等 目(そ	の使の他	用状 対策	況の :)]	lの追 把握	加【i :B10	<u>自</u> 加 ² 3	項目	(重点	対策	夏)】					

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	0	88	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑩)	2	171	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t
	総計(④=②+③)	0	172	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	46.6	kg - CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ) (S=(6)/1000)×⑦	排出 係数	排出量 ^{**†} (t) ^{®=®×®×44/12}
	都市ガス			Nm ³	31,773.9	45.00	1,429.8	0.014	71.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
2111	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者の電視を	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~	その他の買電(昼夜)	- 間不明の場合を含む。)		kWh	203,942.0	9.76	1,990.5	0.489	99.7
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					3,420.3		171.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,737.0			0.251	0.4
他	公共下水道			m^3	1,737.0			0.439	0.8
		合計							1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
組	織体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
r	In a last the co	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
DC /	11 1/1 1/2 00 10 1/2			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C109	空室・不在時等の空調停止
	運 用 対 策			C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
省				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
日エ				C801	共用部照明のフロアごとの管理
ネ	A 11			C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	】 設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
來	放 佣 休 寸 刈 朿	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	沙 供 道 3 暑 俸	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無				
PT - 1	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	内容を記載		

6 特記事項

- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E101高効率照明ランプの採用(屋内)
- E126 窓際照明の連続調光制御
- E135 エレベーターのインバータ制御
- E122 給湯の温水配管の保温の実施
- E133 節水器具の採用
- ■運用対策についての実施項目(セルに入力しきれなかった対策)
- C103 日本工業規格に準じた照度の設定
- C802 階段照明の管理手法の検討・実施
- 【平成30年度に実施した節電対策項目】

①照明

- ・専用部、共用部照明器具の一部消灯
- ②その他
- ・暖房便座、エアタオルの使用停止
- ・電気ポットの利用制限
- ・不使時、待機電力を使用する電気機器のコンセントを抜く
- ・OA機器の省エネモード設定

1 事業所等の概要

-				-																
事	業所	等の	名移	TG	江戸	i) t	ニンレ													
事	業	所	番号	A	0	6	4	5	1	0	0	0	8							
事	業所等	等の別	斤在 地	〒 町 以	1 名 番	3 手地 下	4 江戸		0 −18		1	3		万町 村		江戸,	川区			
事	業所等	の延り	末面積	NING.	2,	186	.00	m^2	事	業別ネル	等レギ	の _	実 績 使	年 度用 期	の間		1年度分	}		1年未満
所	有	形	態		自己	1所7	Í] 他	1者原	有									
報	告	範	囲		建物	カの 🖆	产部		〕建	物の)一营	部(ラ	テナン	ト)		〕建	物の一	·部(-	その	他)
報	告範囲	の主た	る用途		事務工場						商業 複合		设(物 设	販)			業施設 の他	*(飲	食)	
	本 標 ½ おける				9	1	1	連	鎖化	么事 美	美区2	分		直営店	i		加盟店			非該当
前かか	年度の ら <i>の</i>			【追 エネ 運用 【追	成温暖 加項 水ルギ第 加項 別対策	目(重 一等 i:C8 目(そ	点対 の使 11、(t策) 用状 C813	 況の:			3								

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	0	107	kl
-	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	208	t
二酸化炭素排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	2	t
	総計(④=②+③)	1	210	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	95.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	(E)	⑦	(GJ) _{®=(®/1000)} ×⑦	排出 係数 ®	排出量 ^{※1} (t) ^{®=®×®×44/12}
	都市ガス			Nm ³	32,908.8	45.00	1,480.9	0.014	73.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
M	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
711	その他の買電(昼夜)	川不明の場合を含む。)		kWh	274,862.0	9.76	2,682.7	0.489	134.4
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					[®] 4,163.5		¹⁵ 208.3
その	水道及び工業	用水道		m ³	2,979.0			0.251	0.7
他	公共下水道			\mathbf{m}^3	2,979.0			0.439	1.3
		合 計							2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
組糸	織体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
XC /	11 1/1 1/1 0/2 1/2 1/1			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	1			C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策			C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
110				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省工				C801	共用部照明のフロアごとの管理
ネ				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	到 选 /口 点 41 /东	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
朿	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	乳准道14 季	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E119	潜熱回収型ガス給湯器等の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

- ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- C812 自動販売機の不要時の停止
- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E101高効率照明ランプの採用(屋内)
- E126 窓際照明の連続調光制御
- E130 全熱交換器の導入(個別)
- E122 給湯の温水配管の保温の実施
- 【平成30年度に実施した節電対策項目】

①照明

·専用部照明器具の一部消灯

②その他

- ・暖房便座、エアタオルの使用停止
- ・電気ポットの利用中止
- ・コピー機、複合機の利用台数制限
- ・冷水機、製氷機の利用中止
- •OA機器の省エネモード設定

1 事業所等の概要

_					-																	
事	業所	等	の名	称	TG	深川	体	育館														
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	0	9								
					Ŧ	1	3	5	-	0	0	0	3	区	市町	村:	名江	東区				
事	業所	等の	所有	E 地	町:以	名 番	· 地 下	猿江	12-	15-	10											
事	業所等	等の変	正床面	面積		1,	645	.14	m^2	事	業 彦ネノ	等レキ	の -	実 ;	漬 年 [用	度明	か 間	1年	度分] 1 ⁴	年未満
所	有		形	態		自己	所	有		□他	1者形	斤有	7									
報	告		範	囲		建物	カのき	全部		〕	き物の) — 	部(ラ	テナ	ント)			建物	の一音	羽(そ	の他	ሷ)
報	告範囲	の主	たる月	用途		事務工場						商業複合			物販)	Ĭ		商業を	施設(也	飲食	ŧ)	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	上事業	美区:	分		直営	店		加加	盟店	1	1 非	該当
	年度ら																					

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	Œ	33	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	64	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0	t
	総 計(④=②+③)	1	64	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	3	38.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ) 8=(6/1000)×⑦	排出 係数 ®	排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
166	都市ガス			Nm ³	11,854.1	45.00	533.4	0.014	26.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0	1 - 11			
101	その他()	_ 17			0.0				
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
74	その他の買電(昼夜)	- 間不明の場合を含む。)		kWh	76,952.0	9.76	751.1	0.489	37.6
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					1,284.5		64.2
その	水道及び工業	用水道		m ³	550.0			0.251	0.1
の他	公共下水道			m^3	550.0			0.439	0.2
		合 計							0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

1	地球温暖	W 対策O) 実施状況
4	THE DAY AMILIA	PILL WILLIAM OF	/

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
且糸	織体制の整備				
-		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C113	中間期における外気冷房の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C109	空室・不在時等の空調停止
東 省エネルギー対				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	運 用 対 策			C801	共用部照明のフロアごとの管理
L)				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ギー				D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	凯 / 本 / 苦 コ トル / 佐			E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	内容を記載		

特記事項 6

【平成30年度節電対策項目】

①照明

- ・アリーナ内LED照明機器の採用
- ・未使用室の消灯
- ・利用者及び支配人による空調、照明の管理②空調・換気ファンの一部停止 ③その他

・エレベーター停止

1 事業所等の概要

				_	_	_	_	_											
事	業所	等	の名	称	TG	滝野	別會	有一	ビル	/									
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	_	0	0	1	0					
事	業 前	等σ) 訴 右	- 抽	Ŧ	1	1	4	-	0	0	2	3	区	市口	「村	名 北区		
Ţ.	業所	41- 02	771 11	. 20	以以	名 퐡	地下	滝野											
事	業所等	年の3	延床面	面積		8,	392	.92	m^2	事工	業月ネノ	「等レキ	の -	実使	遺 年	度期	の ■ 1年度分		1年未満
所	有		形	態		自己	上所有	ī] 他	1者月	沂有	4						
報	告		範	囲		建物	のの生	产部		〕	き物の	D—₽	部(ラ	テナ	ント)		□ 建物の一	部(その	つ他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務工場						商業複合			物販))	□ 商業施設 □ その他	(飲食)	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	上事刻	業区:	分		直信	営店	□加盟店	-	非該当
前か	年度らの		告内	容点	【追注 運用	成温暖加項 加項 別対策 加項 別対策	目(重 ::C1: 目(そ	点対 23、(の他	策) [811.	[, C81		力口							

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	①	303	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	588	t
二酸化炭素排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	(3)	9	t
	総計(④=②+③)	0	597	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(3)	70.0	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	_		推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{**} 「 (t)
	Firm 1 12				6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	10=8×9×44/12
404.	都市ガス			Nm^3	115,931.9	45.00	5,216.9	0.014	260.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
1611	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
74	その他の買電(社夜)	ー 間不明の場合を含む。)		kWh	671,749.0	9.76	6,556.3	0.489	328.5
規則	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					11,773.2		588.6
その	水道及び工業	用水道		m ³	14,265.0			0.251	3.6
他	公共下水道			m^3	14,265.0	/		0.439	6.3
		合 計							9.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
6 п. <i>- 4</i>	w 14 th o st 14			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
組着	織体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
-	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
X.)	11 1/1 1/1 02 1/1 1/1	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C123	温湿度の適正管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策	C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
/ L				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
省工				C801	共用部照明のフロアごとの管理
ネ				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	凯/告请 7 共 年	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
16	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		${ m kg^{ ext{-}}CO_2/m}^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E104 照明点灯範囲の細分化

E105 照明用人感センサの採用

E106 高効率照明ランプの採用(屋外)

E139 進相コンデンサ等による力率改善

E125 高輝度誘導灯の導入

E126 窓際照明の連続調光制御

E130 全熱交換機の導入(個別)

E111 ポンプ・ファンのインバータ制御

E135 エレベーターインバータ制御

E122 給湯の温水配管の保温の実施

E119 潜熱回収型ガス給湯器等の採用

E123トップランナー機器の採用

■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

C117 便座ヒーター等温度の季節別設定

C802 階段照明の管理手法の検討・実施

C812 自動販売機の不要時の停止

【平成30年度に実施した節電対策項目】

①その他

・温水便座の冬季以外の利用は停止

1 事業所等の概要

_					_																		
事	業所	等の	り名	称	ТG	滝野	川倉	第二	ビル	/													
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	_	0	0	1	1	T								
					₹	1	1	4	-	0	0	2	3	区	市	町木	寸 名	北	区				
事	業所	等の	所 在	地	町以	名番	地下	滝野	řЛ15	-42	?												
事	業所等	等の 延	床面	積		6,	510	.00	m^2		業								1年	度分] 1	年未満
所	有	Ħ	多	態		自己	所不	有	{] 他	1者页	f有					- 4						
報	告	華	ĉ.	囲		建物	りのき	全部		〕	物())一岩	郅(ラ	テナ	ント	.)			建物	カード	邹(-	その	他)
報	告範囲	の主7	たる用	途		事務工場						商業 複合			物具	反)			商業を		(飲:	食)	
	本標				6	9	1	1	連	鎖化	上事業	美区:	分			正営足	ţ.] 加]	盟店	H		非該当
前か	年度の		告 内 更		【追注 運用	え温暖加項[加項] 対策 情導入](重 :C1	点太 13、(†策) C123		Lの追 13	加											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	0	126 kl 245 t 3 1 t 4 246 t			
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	245	t		
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t		
	総計(④=②+③)	1	246	t		
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	37.6	kg - CO_2/m^2		

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等σ	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			00/19		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(II)=(8)×(9)×44/12
LAIS	都市ガス			Nm ³	46,431.3	45.00	2,089.4	0.014	104.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
3814	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	289,701.0	9.76	2,827.5	0.489	141.7
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					4,916.9		245.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,333.0			0.251	0.6
の他	公共下水道			m^3	2,953.0			0.439	1.3
		合 計							1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
Т		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
/art /	36 /1. but a =6 /th			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
組着	織体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
-))) tota	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
汉 /	71 1/1 1/L V/ 1/L 1/E	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C123	温湿度の適正管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C109	空室・不在時等の空調停止
	運 用 対 策			C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
110				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
省工	1			C801	共用部照明のフロアごとの管理
ネ				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ルギ		-		C806	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃·点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	凯准治 1 4 66	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E139	進相コンデンサ等による力率改善
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分	=	ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	容を記載		

6 特記事項

- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
- E104 照明点灯範囲の細分化
- E106 高効率照明ランプの採用(屋外)
- E108 高効率照明器具の採用(屋外)
- E111 ポンプ・ファンのインバータ制御
- E125 高輝度誘導灯の導入
- E122 給湯の温水配管の保温の実施
- E119 潜熱回収型ガス給湯器等の採用
- E123トップランナー機器の採用
- E135 エレベーターのインバータ制御
- ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- C117 便座ヒーター等の季節別設定
- C802 階段照明の管理手法の検討・実施
- 【平成30年度に実施した節電対策項目】

①その他

- ・温水便座の冬季以外の使用は停止
- ・電気ポットの保温は業務時間外は停止
- ・ブラインドは昼は採光目的、夜間休日は遮熱目的として使用

1 事業所等の概要

_						_	_	_		_	_	_										
事	業所	等	の名	称	TG	目黒	ー !ビル	/														
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	1	2								
					Ŧ	1	5	3	-	0	0	6	3	区	市町	村	名	黒区				
事	業所	等の	所在	土地	町:以	名番	地下	目黒		1-3												
事	業所等	等の 致	正床面	ī 積		5,	967.	.00	\mathbf{m}^2	事工	業 済 ノ	で等レギ	0	実施使	責年 用	度期	の 間	■ 1年	度分		1年2	未満
所	有		形	態		自己	上所有] 他	1者月	听有										
報	告		範	囲		建物	カの含	产部] 殞	き物の	D—₽	部(き	テナン	/ト)			建物の	つ一部	3(そ	の他)	
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務 工場						商業複合			勿販)			商業がその他		飲食)	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	匕事刻	業区:	分		直常	當店		□ 加盟	温店		非認	核当
前か	年度 ら 0		告内更		【追え エネ 運用	温頃 川対頃 対項	目(重 一等 ::C8 目(そ	点対 の使 11 の他	策)] 用状 対策	 況の			3									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	TO .	122	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	2	237	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	<u> </u>	2	t
110	総計(④=②+③)	(I)	239	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	39.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			及加		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
Lats	都市ガス			Nm ³	39,817.5	45.00	1,791.8	0.014	89.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
74	その他の買電(昼夜)	間不明の場合を含む。)		kWh	303,283.0	9.76	2,960.0	0.489	148.3
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					4,751.8		237.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,145.0			0.251	0.8
の他	公共下水道			\mathbf{m}^3	3,145.0			0.439	1.4
		合計							2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策	71	その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
/n 4	かけまの専件			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
租币	織体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
H)	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
IX /	11 10(1)[0) 1[1/2]			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策			C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
/ L				C801	共用部照明のフロアごとの管理
省工				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
ネ				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
7		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E126	窓際照明の連続調光制御
	11. 供道 7. 斗笠	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E130	全熱交換器の導入
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E139	進相コンデンサ等による力率改善
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分	ラン	ク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-	${ m CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	学を記載		

6 特記事項

- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E101 高効率照明ランプの採用(屋内)
- E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
- E125 高輝度誘導等の導入
- E105 照明用人感センサの採用E135 エレベーターのインバータ制御
- E122 給湯の温水配管の保温の実施
- ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- C103 日本工業規格に準じた照度の設定
- C114 事務用機器を省エネモードに設定
- C117 便座ヒーター等温度の季節別設定
- C812 自動販売機の不要時の停止
- 【平成30年度に実施した節電対策項目】

①照明

- ・共用部照明器具の一部消灯
- ②その他
- ・暖房便座、エアタオルの使用停止
- ・OA機器の省エネモード設定

1 事業所等の概要

				_				-	-										
事	業所	等の	名称	TG	赤羽	ヨビル	V												
事	業	所	番 号	A	0	6	4	5	-	0	0	1	3						
				₹	1	1	5	-	0	0	4	4	区	市町	村	名 北区			
事	業所	等の月	近在 地	町以	名番	地下	赤羽	南1	-10	-3					Ī				
事	業所等	等の延.	床面積		1,	916	.19	m^2	事工	業	「等レキ	の	実 <i>i</i> ・ 使	責年用	度期	の 間 ■ 1年	F度分		1年未満
所	有	形	態		自己	所	有] 他	1者原	斤有								
報	告	华[进		建物	カの生	全部] 建	物0) — ‡	部(ラ	テナ	ント)		■ 建物	の一音	3(その	の他)
報	告範囲	の主た	る用途		事務工場						商業複合			勿販)		□ 商業 □ その	施設(他	飲食)	
	本 標 おける				9	1	1	連	鎖化	上事美	業区:	分		直営	店	口加	盟店		非該当
前か	年度らの																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	Œ	78	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	7	151	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0	t
	総計(④=②+③)	(1)	151	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	78.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計			dum stad	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑤/1000)×⑦	9	(t) (0=8)×9×44/12
LAIS	都市ガス			Nm ³	4,117.9	45.00	185.3	0.014	9.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()			1 5	0.0	-			
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~	その他の買電(昼夜)	出不明の場合を含む。)		kWh	291,720.0	9.76	2,847.2	0.489	142.7
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					3,032.5		151.9
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	361.0			0.251	0.1
他	公共下水道			m^3	361.0	/		0.439	0.2
		合 計							0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策			その他対策		
		対策番号	対策名		対策番号	対	策名	
					A401	テナントにエネル	ギー使用量提供	
組組	織体制の整備				A402	使用量の推計に	必要な情報の提供	
		B106	過去のデータによる傾向	可の把握	B101	自ら入手可能な情	青報に基づく把握	
	ネルギー等の用状況の把握				B105	エネルギー使用量	量の前年度比較	
		C105	昼休み時の消灯の実施		C101	空室・不在時等の	こまめな消灯	
		C115	事務用機器を業務終了	時に停止	C108	温度計等による室	経温の把握と調整	
		C813	外灯等の点灯時間の季	節別管理	C109	空室・不在時等の	空調停止	
	運用対策				C801	共用部照明のフロ	アごとの管理	
省エネル								
ギー	6	D103	中央熱源機器等の定期	点検の実施	D104	空調フィルターの	清掃·点検	
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・	点検	D108	その他設備の定類	朗的な保守・点検	
		E103	高効率照明器具の採用	1(屋内)	E101	高効率照明ランプ	プの採用(屋内)	
	凯/英诺丁号英	E109	空調の冷温水配管の保	温の実施	E130	全熱交換器の導	λ	
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採	用	E122	給湯の温水配管の	の保温の実施	
					E124	更新に合わせた高効率機器の採		
5 目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 での有無 票値等(選択)	球温暖化 □ 有 ベンチマー	■ 無 ク区分 (延床面積当たり)	ランク kg·CC 項に内容を	O_2/m^2 CC	2削減率(前年度比) 2排出量(総量)	o d	
6	特記事項							
【平	成30年度節電対策1	項目】						

1 事業所等の概要

				- 1					_			_								_	_
事	業が	等	の名	称	TG	麻布	iビル														
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	1	4							
l.,					₹	1	0	6	_	0	0	5	4	区	市町	村纟	名 港[<u>X</u>			
事	業所	等 0	り所る	王 地	町以	名番	地下	南床	₹布2												
事	業所等	等の	延床	面積		9,	292	.00	m^2	事	業	下等レキ	の : _	実 紅 使	責年 用	度の期間	の 間	1年度	分		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	所	盲]他	也者原	斤有									
報	<u>#</u>	î	範	囲		建物	カの全	全部] 殞	೬物0) — 持	邪(ラ	テナ	ント)			建物の	一部	(そ)	の他)
報	告範囲	月 の言	上たる	用途		事務工場						商業複合			勿販)			商業施 その他	設(的	次食))
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	匕事氵	業区:	分		直営	·店		加盟	店		非該当
前か	年度らら		最告 P 変 更		【追エネ運用】	ド温暖 加収ギ 対対項 加対策 対対策	目(重 一等 ::C8 目(そ	点対 の使 11 の他	け策)) 注用状	】 況の			3								

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	234	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	453	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水には伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	4	t
	総 計(④=②+③)	4	457	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	48.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		推計			t en vive	熱量		炭素排出量
	燃料等の種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{***} (t)
		12.713		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	10=8×9×44/12
.(Jalis	都市ガス		Nm ³	81,408.8	45.00	3,663.4	0.014	182.7
燃料	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他(軽油)		L	0.0	37.70	0.0	0.019	0.0
2111	その他()			0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	-22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気 夜間(22時~*	烈日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
714	その他の買電(昼夜間不明の場合を	合む。)	kWh	554,394.0	9.76	5,410.9	0.489	271.1
規則	川第5条の17第3項の場合の	みなし値 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	合 計					9,074.3		453.8
その	水道及び工業用水道		m^3	7,094.0			0.251	1.8
他	公共下水道		\mathbf{m}^3	7,094.0			0.439	3.1
	合 計				/			4.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
⁄a⊟ /a	か は 出 の 部 /#			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
組系	職体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
-) but	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
义力	11 1/1 1/2 0/2 1/2 1/2			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策			C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
/W				C109	空室・不在時等の空調停止
省工				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ	0.3			C801	共用部照明のフロアごとの管理
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
	以用与八对风			E119	潜熱回収型ガス給湯器等の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

- ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- C120 外灯等の点灯時間の季節別管理
- C121 屋内駐車場換気の不要時間の停止
- C127 看板照明点灯時間の季節別管理
- C812 自動販売機の不要時の停止
- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E101 高効率照明ランプの採用(屋内)
- E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
- E106 高効率照明ランプの採用(屋外)
- E107 蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)
- E108 高効率照明器具の採用(屋外)
- E135 エレベーターのインバータ制御
- E122 給湯の温水配管の保温の実施 E137 高効率変圧器への更新・台数集約
- 【平成30年度に実施した節電対策項目】
- ①その他
- ・温水便座の冬季以外の使用は停止
- ・電気ポットの保温は業務時間外は停止
- ・ブラインドは昼間は採光目的、夜間休日は遮熱目的で使用

1 事業所等の概要

	• //-	4/21	1 -> 19/						_	-		_	_	-		_		_	_	
事	業所	等	の名	称	上剂	也袋	配送	とせい	ノター	ービ	ル									
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	1	5						
事	光 記	tete on	75 A	~ Lib	₹	1	7	0	=	0	0	1	2	区	市町	^ 村	名 豊島区			
争	業所	寺 (/)	別日	上地	町は以	名 番	地下	上池	2. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	-8-5										
事	業所等	争の致	正床面	面積			523	.37	m^2						責年			度分		1年未満
所	有		形	態		自己	所	有			也者於		1							
報	告		範	囲		建物	カのき	全部]	き物の) 一 ^片	部(ラ	テナ	ント)		□ 建物の	一部	(その)他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務工場						商業複合			物販)		□ 商業施■ その他		欠食)	
	本 標 おける					9	1	1	連	鎖化	匕事美	集区:	分		直包	営店	□ 加盟	店		非該当
前	年度	の 報	: 告 卢	了容																
か	6 a) 変	更	点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	(1)	23	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	46	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	0	t
	総計(④=②+③)	1	46	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	3	87.8	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
_					6	7	8=(6/1000)×⑦	9	(1)=(8)×(9)×44/12
Lhis	都市ガス			Nm ³	3,222.8	45.00	145.0	0.014	7.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
765	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	79,466.0	9.76	775.6	0.489	38.9
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				/	920.6		46.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	237.0			0.251	0.1
の他	公共下水道			m ³	237.0	/		0.439	0.1
		合 計				/			0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

対策番号 対策名 対策番号 対策名 和織体制の整備 エネルギー等の使用状況の把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 B102 関連他者からの情報を加えてエネルギー使用量の前年度は エネルギー使用量の前年度は カース・ルギー使用量の前年度は またいずー 対策 設備保守対策 と 103 高効率照明器具の採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 ま維年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 「表緒年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無	A late to Little to the late to	
田	对東名 対東番号 対東名	
B106 過去のデータによる傾向の把握 B102 関連他者からの情報を加えて エネルギー使用量の前年度と 選 用 対 策		
正 ネルギー 等の 使用 状 況 の 把 握 運 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 設備 導入 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) 設備 導入 対策 E114 高効率パッケージの採用 表線年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 にの。排出量(経床面積当たり) kg・CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
正 ネルギー 等の 使用 状 況 の 把 握 運 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 設備 導入 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) 設備 導入 対策 E114 高効率パッケージの採用 表線年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 にの。排出量(経床面積当たり) kg・CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
正 ネルギー使用量の前年度は	5のデータによる傾向の把握 B102 関連他者からの情報を加えて	把握
選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) 設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 表積年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) にの₂排出量(経床面積当たり) kg·CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
省エネルルギー 対策 設備保守対策		
指 元 ネ ネ ル デ		
正式ネルギー 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 を績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) CO2排出量(延床面積当たり)		
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E114 高効率パッケージの採用		
が 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 Eifer 度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 Eifer 度の地球温暖化対策の目標 標の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg·CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
説		
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) 設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg·CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg·CO2/m² CO2排出量(総量)		
設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg·CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg·CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 1 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg·CO2/m² CO2排出量(総量)	カ率パッケージの採用	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg·CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg·CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無	目標達成した。	
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無	the en let late	
インチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量)		
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg·CO2/m² CO2排出量(総量)		
		9
その他特記事項に内容を記載		t
	特記事項に内谷を記載	_
6 特記事項		
0 PT LL 7 X		

1 事業所等の概要

1		7.	1/1/	,,,		似女	_																		
事	業	美 戸	F 4	等	の	名利	南	千住	事務	务所															
事		業	Ē	沂	番	- 号	A	0	6	4	5	-	0	0	1	6	T								
	عللد ٠		Robo	_		+ 11	Ī	1	1	6	7	0	0	0	3	区	市	町木	寸 名	荒川	三				
事	兼	別	等	(/)	肵	在地	町以	名番	地下	南千	-住3-	-19													
事	業	所:	等(りる	正床	面積			328	.06	m^2	事工	業月ネノ	デ等レギ	の : _	実施	績を	手月	との		1年	度分			1年未清
所		1	Î		形	態		自己	1所2	有] 他	1者月	斤有											
報		<u> </u>	1		範	并		建物	カの3	全部] 殞	生物0) — <u>‡</u>	部(ラ	テナ	ント)	Π		建物	のー	部(その)他)
報	告	範見	目の	主	たる	5用途		事務工場						商業複合			物則	<u>(</u>)			新業	施設 他	(飲	(食)	
						分類番号		9	1	1	連	鎖化	上事訓	業区:	分		直	當后	5		加!	盟店			非該当
前か		度			告	内 名																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	0	15	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	29	t
二酸化炭素排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	(3)	1	t
	総計(④=②+③)	0	30	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<u>(3)</u>	88.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等σ	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 [*] 「 (t)
			文川		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0) (0)=(8)×(9)×44/12
LAN	都市ガス			Nm ³	7,849.2	45.00	353.2	0.014	17.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
Th?	その他()			- 1	0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~~	その他の買電(社夜)	ー 用不明の場合を含む。)		kWh	23,995.0	9.76	234.2	0.489	11.7
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					[®] 587.4		29.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,505.0			0.251	0.4
の他	公共下水道			m^3	1,505.0			0.439	0.7
		合 計							1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策			その他対	
		対策番号	対策	名	対策番号	×	対策名
組組	は体制の整備						
_		B106	過去のデータによる	原白の押書	B102	間声 仲 孝ふこの	情報を加えて把握
工才	ベルギー等の		回去のプーグによる	19月10万亿姓	B102		量の前年度比較
使 月	月状況の把握				Bioo	177 1 55711	至7/// 人/24人
1							
ı							
- 1	運 用 対 策						
省							
エネ							
ル							
ギー							
対							
策	設備保守対策						
1							
	設備導入対策						
М	Par plid 11 2 - 2 1 2 1						
実績	年度の目標達成	えの状況	□ 目標達成し7	た。			
			Li foto - Hi lar				
5	提出年度の地						
月	標 の 有 無	口有	無無		. [00)₂削减率 (前年度均	
C1 +an		ベンチマー		ランク			-
日標	[値等(選択)		量(延床面積当たり))2排出量(総量)	t
		その他	符言	記事項に内容を	ど記載		
6	特記事項						
U							

1 事業所等の概要

_		-//	1 0 19		_	_	_		_			_	_		_	_		_		_	_	
事	業	等	の名	3 称	四名	谷クラ	ラブ															
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	1	7								
)II	tot -			Ŧ	1	6	0	-	0	0	0	5	区	市町	丁村	名	新宿▷	ξ			
事	業所	等 0.	所不	玍 地	町以	名番	地下	愛住	三町6	-1												
事	業所等	等の	延床	面積		2,	264	.65	m^2		業戸ネノ							1	年度分	>	□ 1	年未満
所	有	-	形	態		自己	所	有] 他	1者原	斤有	Т									
報	告	-	範	囲		建物	カのく	全部] 建	*物0) 一	部(ラ	テナ	ント)			建物	勿の一	·部(-	その作	也)
報	告範囲	の主	Eたる.	用途		事務工場						商業複合			物販)		商業	業施設 ○他	(飲	食)	T
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鍾俏	上事美	美区	分		直	営店		口力	1盟店		■ ∌	丰該当
前か	年度らい																					

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	Ō	143	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	7	278	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	3	t
	総計(④=②+③)	1	281	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	122.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量**' (t)
			12/11		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0=8×9×44/12
LAIN	都市ガス			Nm ³	53,090.6	45.00	2,389.1	0.014	119.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
7713	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	25,050.0	9.97	249.7	0.489	12.2
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	20,876.0	9.28	193.7	0.489	10.2
	その他の買電(社夜)	- 川不明の場合を含む。)		kWh	280,257.0	9.76	2,735.3	0.489	137.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	値 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					5,567.9		278.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,844.0			0.251	1.2
の他	公共下水道			m^3	4,844.0			0.439	2.1
		合 計							3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
狙絹	な体制の整備				
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ベルギー等の 月状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
1		C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C109	空室・不在時等の空調停止
П				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
اير				C801	共用部照明のフロアごとの管理
省エネ				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
レギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
讨	30. /# /D 点 41 /#	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
	双 洲 等 八 刈 來			E105	照明用人感センサの採用
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	□目標達成した。
--------------	----------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無				
	ベンチマーク区分	5	ンク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	k	$g \cdot CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	容を記載		

特記事項

■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策) E124更新に合わせた高効率機器の採用

【平成30年度までの節電対策項目】

①照明

・運営会社による共用部及び未使用室の照明点滅管理②空調・常駐管理会社による運転管理(スケジュール、発停操作、温度管理)・各系統ごとの空調機運転・温度の把握・設定(AC-1,2,3)

1 事業所等の概要

事	業所	等 の :	名称	大和	茶ゴル	ルフ	練習	湯湯						
事	業	所 番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	1	. 8	
				Ŧ	1	4	3	0	0	0	1	2	区市町村名大田区	
事	業所	等の所	在地	町以	名番	地下	大森	東3	-28	-1				
事	業所等	の延床	面積		1,	691	.19	m^2	事	業 ア ネ ノ	「等 レギ	の :	実 績 年 度 の - 使 用 期 間 ■ 1年度分 □ 1年末	満
所	有	形	態		自己	上所る	有] 他	1者月	斤有			
報	告	範	囲		建物	カのミ	全部		〕建	物の)一 [‡]	部 (ラ	テナント) □ 建物の一部(その他)	Ŧ
報	告範囲	の主たる	5用途		事務 工場						商業複合		面設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 面設 ■ その他	
日に	本 標 i お け る	準産業 細分類	分類番号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分	□ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該	当
前か		の報告の変り												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	O .	115	kl
1	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	224	t
二酸化炭素排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	2	t
	総計(④=②+③)	1	226	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	132.4	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ) (B=(6)/1000)×⑦	排出 係数 ®	排出量 [※] 「 (t) ®=®×®×44/12
T	都市ガス		Nm ³	41,899.6	45.00	1,885.5	0.014	94.0
燃料	その他 (LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()		- 1	0.0				
7115	その他()			0.0				
_	一般送配電事業者 昼間(8時~22時) の電線路を介して		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気 夜間(22時~翌日8時		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	267,039.0	9.76	2,606.3	0.489	130.6
規貝	川第5条の17第3項の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	合 計					4,491.8		224.6
その	水道及び工業用水道		m ³	4,200.0			0.251	1.1
他	公共下水道		m ³	4,200.0			0.439	1.8
	合 計							2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

		1144	重点対策		114-	その他対策			
		対策番号	対	策名	対策番号	対策名			
		12.00	-						
組組	織体制の整備								
					-				
-		D100	n+1987/7 254 6m (z +	m#B	B101	自ら入手可能な情報に	まべく 加根		
I)	ネルギー等の	B103	時間的に詳細に持		B101	エネルギー使用量の前			
使 /	用状況の把握	B106	過去のデータによ	の傾向の危煙	D109	エネルギー使用重の削・	中/及比較		
		C115	事務用機器を業績	を放了時に信止	C101	空室・不在時等のこまめ	か当れ		
		C113	外灯等の点灯時		C101	空室・不在時等の空調			
		0010	>LV1 4.52WV1 10/1	可グート関が「日本生	C806	その他設備の不使用時			
					0000	C 97 图 展	•> 11 TIZ		
	運用対策								
省工					1				
エネ									
ル									
ギー		D101	ランプ等の定期的	1な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・	 点検		
, 対		D105	換気フィルターの		D108	その他設備の定期的な			
策	設備保守対策	D100	DCXX V	111111	1 2 2 3 3				
		E103	高効率照明器具	 の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採り	用(屋内)		
		E114	高効率パッケーシ		E102	蛍光灯へ電子安定器採			
	設備導入対策				E104	照明点灯範囲の細分化			
					E124	更新に合わせた高効率			
5 目	提出年度の地標の有無	□ 有	公対策の目標■ 無						
		ベンチマー	ク区分	ランク		D ₂ 削減率(前年度比)	9/		
目標	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	は(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 Co	O ₂ 排出量(総量)	t		
		その他	架	記事項に内容	を記載				
		•							
6	特記事項								

1 事業所等の概要

_	, ,,,	121 14 12	170											_	_						_
事	業所	等の	名 称	板村	喬ユ、	ニク	ロビ	ル													
事	業	所 番	号号	A	0	6	4	5	-	0	0	1	9								
				Ŧ	1	7	3	-	0	0	0	4	区	市	町木	寸 名	3 板橋	<u> </u>			
事	業所等	等の所	在地	町以	名番	F 地 下	板橋	∯1−3:	3-4												
事	業所等	の延床	:面積			779	.59	m^2	事工	業 所 ネ ル	等レギ	の 	実 ? · 使	績 年	年度	その 間		l年度分		1 1年	F未満
所	有	形	態		自己	所	有	[] 他	1者所	有										
報	告	範	囲		建物	カクン (全部] 葅	と物の) — 捍	部(ラ	テナ	ント)		□ 建	物の一	部(そ	の他	Ţ)
報	告範囲	の主たる	る用途		事務工場						商業 複合			物則	页)			業施設 の他	(飲食	E)	
		準産業 細分類			9	1	1	連	重鎖(匕事类	美区2	分		直	「営店	Ē		加盟店		■非	該当
前か		か報告)変 3																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	①	56	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	109	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0	t
	総計(④=②+③)	1	109	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	139.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計		使用量	A min star	熱量	二酸化炭素排出量	
			の使用	単位		係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{**} (t)
	L. Charles		12/14		6	7	®=(⑤/1000)×⑦	9	@=8×9×44/12
LAb	都市ガス			Nm ³	18,452.2	45.00	830.3	0.014	41.4
燃料及び熱	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()				0.0				
	その他()				0.0				
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜)	用不明の場合を含む。)		kWh	138,816.6	9.76	1,354.9	0.489	67.9
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					^w 2,185.2		109.3
その	水道及び工業	用水道		m ³	324.5			0.251	0.1
の他	公共下水道			m ³	324.5			0.439	0.1
		合 計							0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策			
		対策番号	対策	名	対策番号	対策名		
組織	体制の整備							
		Dice		I ID	D100		t= \ ~ m	
エネルギー等の		B106	過去のデータによる	頃向の把握	B102	関連他者からの情報を		
使用	状況の把握				B105	エネルギー使用量の前	1年度比較	
-		0010	b trotto t trittee a	老 佐田佐田				
		C813	外灯等の点灯時間の	/学即別官理				
					-			
					-			
追	国 用 対 策				-			
省								
エネ								
ル	1 4 1							
ギー		D101	ランプ等の定期的な					
対			7 7 17 17 12 77 11 3 6	11770 2420				
策影	设備保守対策							
-		E103	高効率照明器具の摂	采用(屋内)				
			回沙十流勺面於27水川(注11)					
記	设備導入対策							
						1		
実績年	年度の目標達成	で状況	□ 目標達成した	-0				
5	提出年度の地	1 我担	が第の日暦					
		口有	■無					
口 15	示り作無	ベンチマー		ランク	CC	2削減率(前年度比)	%	
D 17 /de 66 /33 UT)		-						
日標和	直等(選択)	_	(延床面積当たり)			2排出量(総量)	t	
		その他	特記	事項に内容を	記載			
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	江列	東ビル	ル											
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	2	0				
事	業所	等の	所有	E 地	干町	1 名 番	3 地	5		0	0	1	3	区	市町	村	名 江東区	
事	業所等	等の発	延床置	面積	以	3,	下 000	_		事	業列	等レギ	の	実系使	責年,用期	度期	の ■ 1年度分	□ 1年未満
所	有		形	態		自己	し所る	i		_	. 者月		1		,,,,	,,		
報	告		範	囲		建物	カの全	产部		〕	物0)一岩	部(き	テナ	/ト)		□ 建物の一部	(その他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務工場						商業 複合			勿販)		□ 商業施設(飲 □ その他	(食)
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区2	分		直営	店	□ 加盟店	■ 非該当
前か	年度らの			7 容	【追え エネ 運用 【追え	は温暖 加項ギ 別対第 加対第 加対策	目(重 一等 :: C8 目(そ	点対 の使 13 の他	け策)) 用状 対策	】 況の)】	把握		3					

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	0	109	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	211	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	3	t
	総計(④=②+③)	0	214	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5)	70.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※)} (t)
			IX/II		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(ii)=(8)×(9)×44/12
LAIN	都市ガス			Nm^3	33,860.9	45.00	1,523.7	0.014	76.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
Tris	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜)	川不明の場合を含む。)		kWh	277,477.0	9.76	2,708.2	0.489	135.7
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合計					4,231.9		^(b) 211.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,221.0			0.251	1.3
他	公共下水道			m ³	5,221.0			0.439	2.3
		合計						/	3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
組糸	織体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
) . IS hole m	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
汉 /	11 1/ 1/1 V 1/1 1/E			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	運用対策			C801	共用部照明のフロアごとの管理
110				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
省工				C815	看板照明点灯時間の季節別管理
ネル				C806	その他設備の不使用時の停止
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	凯供首 大头鱼			E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 □目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	7	lt
	その他	特記事項に	内容を記載			

特記事項 6

- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E106 高効率照明ランプの採用(屋外)
- E107 蛍光灯へ電子安定器の採用(屋外)
- E108 高効率照明器具の採用(屋外)
- E126 窓際照明の連続調光制御
- E135 エレベーターのインバータ制御
- E130 全熱交換機の導入(個別)
- E122 給湯の温水配管の保温の実施
- 【平成30年度に実施した節電対策項目】 ①照明

- 専用部、共用部照明器具の一部消灯 ②その他
- ・暖房便座、エアタオルの使用停止
- ・電気ポットの利用制限
- ・コピー機、複合機の利用台数制限
- 冷水機、製氷機の利用中止

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	荒丿	川配	送セ	ンら	7—ŀ	ごル													
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	T	0	0	2	1	T								-
事	業所	等の	所在	E 地	〒 町以	1 名 番	1	6 荒川	3-50	0	0	0	2	区	市口	町村	名	荒川	区				
事	業所等	等の タ	延床面	面積			791	.39	m^2	事工	業月ネノ	等レキ	の : _	実 · 使	績 ^在	F 度 期	の間		1年度	き分		1年	未満
所	有		形	態		自己	1所7	Ī		□ 他	1者月	斤有	7										
報	告		範	囲		建物	カの生	全部]	き物の)—‡	部(う	テナ	ント)		〕建	物の	一	3(そ	の他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務工場						商業複合			物販	()			所業施 の他		飲食	;)	1
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	上事	業区:	分		直	営店	i		加盟	店		非	该当
前か	年度らの		{ 告 卢 ② 更																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	Ū	95	kl
1	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	185	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総 計(④=②+③)	(1)	188	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	233.7	kg - CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計		tt m B	ter yet	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{*1} (t)
)) (6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
dat	都市ガス			Nm^3	52,370.5	45.00	2,356.7	0.014	117.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
mis	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^,	その他の買電(昼夜	川不明の場合を含む。)		kWh	138,217.0	9.76	1,349.0	0.489	67.6
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					¹⁹ 3,705.7		185.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,098.0			0.251	1.3
の他	公共下水道			m ³	5,098.0			0.439	2.2
		合計							3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				-	
公日 幺	職体制の整備				
平日. 非	戦や前の金属				
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
工 2	ネルギー等の			B105	エネルギー使用量の前年度比較
史	用状況の把握			1	
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C103	温湿度の適正管理	0101	五玉 山川川 せんてなんなけい
		0123	血極及	-	
				-	
	V-7				
	運 用 対 策				
省	1 1				
工					
ネ					
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対					
策	設備保守対策				
		E114	高効率パッケージの採用	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		BIII	同が十八八一人の水川	EIOI	
	設備導入対策		同が一・・ファンス・フェンス・コ	Elot	
	設備導入対策		间冽于"77 岁仍然间	12101	
	設備導入対策		间别于"",	15101	
				15101	
	設備導入対策 情年度の目標達成		□目標達成した。	15101	
実績	情年度 <i>の</i> 目標達成	が状況	□ 目標達成した。	15101	
実績 5	責年度の目標達成 提出年度の地	が温暖化	□ 目標達成した。ご対策の目標	15101	
実績 5	責年度の目標達成 提出年度の地	が 球温暖化 口 有	□ 目標達成した。ご対策の目標■ 無		
実績 5 目	情年度の目標達成 提出年度の地標の有無	が 球温暖化 ロ 有 ベンチマー	□ 目標達成した。△対策の目標■ 無ウ区分ラン	7 CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目	責年度の目標達成 提出年度の地	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	
実績 5 目	情年度の目標達成 提出年度の地標の有無	が 球温暖化 ロ 有 ベンチマー	□ 目標達成した。△対策の目標■ 無ウ区分ラン	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目	情年度の目標達成 提出年度の地標の有無	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目 目標	情年度の目標達成 提出年度の地標の有無	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
 実 縁 5 目 標	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比) %
美	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比) %
美	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比) %
美	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比) %
 実 縁 5 目 標	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比) %
 実 縁 5 目 標	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目 目標	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目 目標	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目 目標	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目 目標	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)
実績 5 目 目標	養年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 係値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。	ク CO CO ₂ /m² CO	2削減率(前年度比)

1 事業所等の概要

	1. >1	C/2 1	17 18/6 54	_	_			_		_	_		_					_	
事	業所	等の)名 和	弥 萩	中マ	クド・	ナル	ドビ	ル										
事	業	所	番	를 A	0	6	4	5	-	0	0	2	2						
				Ī		4	4	-	0	0	4	7	区	市町	村々	3 大田区			
事	業所	等の)	所 在 5	也町以	名番	地下	萩中	⊒3-2											
事	業所等	等の延	床面和	遺		212	.39	\mathbf{m}^2						責年』			更分		1年未満
所	有	开		態■	自己	1所2	有		□ 他	也者所	斤有	1							
報	告	窜	ž [用	建物	かの1	全部	[] 建	き物の) — <u>‡</u>	部(う	テナ	ント)		□ 建物の	一部	(その	他)
報	告範囲	の主が	こる用え	金	事務工場						商業複合			物販)		■ 商業施□ その他		欠食)	
	本 標 おける				9	1	1	进	鎖化	上事業	業区:	分		直営	店	□ 加盟	店		非該当
前か	年度らの			容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	Θ	109	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	212	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t
	総計(④=②+③)	1	213	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	998.1	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			IX/II		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(i)=(8)×(9)×44/12
LAIN	都市ガス			Nm ³	33,326.4	45.00	1,499.7	0.014	74.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
The	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^\	その他の買電(昼夜)	用不明の場合を含む。)		kWh	281,760.0	9.76	2,750.0	0.489	137.8
見貝	川第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				/	4,249.7		212.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,382.0			0.251	0.6
の他	公共下水道			m^3	2,382.0			0.439	1.0
		合 計							1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ	体制の整備	対策番号	大	5名	対策者	长 早	その他対策	
エネ	体制の整備		NI M	K-11	N 水毛	计勺	, All	K-11
エネ	件 III V 走 厢							
		B106	過去のデータによる	4. 傾向の押提	B10	19	関連他者からの情	却を加えて押提
	ルギー等の	D100	直立の/ グによる	J 9月 F] V J 1 L 1/主	B10		エネルギー使用量	
史 用	状況の把握							
					C10)1	空室・不在時等の	こまめな消灯
					C10		照明スイッチに点	
	N				C10)7	空調機スイッチに	空調範囲を表示
運	用 対 策				_	-		
省工	M							
ネ								
ルギー								
1		D101	ランプ等の定期的な		D10	08	その他設備の定期	朗的な保守・点検
対策 設	:備保守対策	D105	換気フィルターの清	f掃·点検		_		
						_	-	
+		E103	高効率照明器具の	採用(屋内)	E10)1	高効率照明ランフ	の採用(屋内)
		Dioo	191797 1- 777.77 16177	[[[]]] [[]	E11	_	潜熱回収型ガス約	
設	:備導入対策							
主結在	- 度の目標達成	の状況	□ 目標達成し	<i>†</i>				
大順千	プロ保定以	2074/CIDE	口口が定成し	700				
5 ±	是出年度の地	球温暖化	対策の目標					
目標	の有無	□有	無無		-			
		ベンチマー			ンク		2削減率(前年度比)	%
目標値	直等(選択)		(延床面積当たり)		g·CO ₂ /m ²	CO	2排出量(総量)	t
		その他	特	記事項に内容	容を記載			
C #	4.幻 重 语							
6 华	寺記事項							

1 事業所等の概要

																	_				_		
事	業所	等	の名	名 称	萩□	中事	務所	ŕ															
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	1	0	0	2	3									
					₹	1	4	4	-	0	0	4	7	区	市町	「村	名	大日	区				
事	業所	等の	所有	在 地	町以	名番	声地 下	萩中	13-	2-8													
事	業所等	争の多	延床	面積			198	.00	m^2	事工	業	「等レギ	の -	実 %	責年	度期	の間	•	1年月	度分			1年未満
所	有		形	態		自己	上所る	有	[] 他	1者原	听有											
報	告		範	囲		建物	カ の全	全部]	き物の)— <u>‡</u>	部 (ラ	テナ	ント)] 及	生物0)一 [‡]	邿(-	その	他)
報	告範囲	の主	たる	用途		事務工場						商業複合			物販))			新業旅 その他		飲	食)	- 1
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	匕事美	業区	分		直往	営店			加盟	店			非該当
前か	年度らる	の 報 の 黎	も 告 に ぎ 更	内容点	【追起 設備	^{找温暖} 加項 計導入 加導項 計対策	目(重 、対策 目(そ	点点 g:E1 の他	け策) 03]	一 追	力口											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	0	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑩)	2	3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0	t
	総計(④=②+③)	(1)	3	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	15.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計			a mar stad	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{**1} (t)
	都市ガス			Nm ³	⁶ 145.0	45.00	8=(6/1000)×⑦	0.014	(I)=(8)×(9)×44/12
燃	その他(LPG)								
料				kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
2117	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
//	その他の買電(昼夜)	川不明の場合を含む。)		kWh	7,085.0	9.76	69.1	0.489	3.5
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					75.7		3.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	118.0			0.251	0.0
の他	公共下水道			m ³	118.0			0.439	0.1
		合計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑩=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温	暖ル	分第	の宝	施出	/ ਜ
-	JUL 24 1 1 1111.	H/2 II 4	VI NA I	ィノブ	71114 417	71

		重点対策		その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
組織体制の整	逐備		A402	使用量の推計に必要な情報の提供
	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
ェネルギー等 吏用状況の把			B102	関連他者からの情報を加えて把握
× 711 -00 100 00 10	1 1/35		B105	エネルギー使用量の前年度比較
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
			C801	共用部照明のフロアごとの管理
			C802	階段照明の管理手法の検討・実施
運用対	策		C806	その他設備の不使用時の停止
省 エ ネ				
ギ				
[D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
対 衆 設 備 保 守 対 -	力策 D105	換気フィルターの清掃・点検		
-	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E122	給湯の温水配管の保温の実施
設備導入対	寸策		E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。
--------------	-----------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-C0	O ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を	記載	

0	4+	事項
0	4年 ∃□	1 TEV TH
9	7171 01	1 - 1

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	新	谷原	頁•ビ	゛ック	"-E-	ータ・	_												
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	2	4								Ī
					₹	1	7	7	-	0	0	3	2	区	市町	村:	名練	馬区				
事	業所	等 0	所有	主地	町以	名 番	地下	谷原	€1-1													
事	業所等	きの)	延床	面積			239	.34	m^2	事	業月ネノ	等レギ	の : _	実 #	責年用	度明	別間	1年	度分]1年	未満
所	有		形	態		自己	·所7	有] 他	也者同	斤有										
報	告		範	囲		建物	り の全	全部	[] 頦	と物の) 一	部()	テナ	ント)			建物	の一节	邪(そ	の他)
報 *	告範囲	の主	三たる。	用途		事務 工場						商業複合			物販)			商業その	施設(他	飲食	<u>(</u>)	
	本 標 おける				6	9	1	1	通	運鎖(匕事	業区:	分		直営	店		〕加	盟店	1	非語	該当
前か	年度の		是告 更																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	Û	12	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑩)	2	23	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	0	t
	総 計(④=②+③)	1	23	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	1	96.0	kg - CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ) (8=(6/1000)×7	排出 係数 ®	排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
	都市ガス			Nm ³	3,475.1	45.00	156.4	0.014	7.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
2015	その他()			1 7	0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~~	その他の買電(昼夜	用不明の場合を含む。)		kWh	32,479.0	9.76	317.0	0.489	15.9
規貝	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計		4.77			473.4		23.7
その	水道及び工業	用水道		m ³	79.0			0.251	0.0
他	公共下水道			m^3	79.0			0.439	0.0
		合 計							0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策				その他対策	
		対策番号	対策	5名	対策番	号	対策	名
組織	は体制の整備				1			
		N .						
	. 13 44 -	B106	過去のデータによる	が傾向の把握	B10	2	関連他者からの情報	Rを加えて把握
エイ	(ルギー等の 引状況の把握				B10	5	エネルギー使用量の	の前年度比較
_					G10	4	physical and the second	along to Million
					C10		空室・不在時等のこ 照明スイッチに点灯	
					C10		空調機スイッチに空	
ì	運 用 対 策							
省								
エネ					1	-		
ル								
ギー		D101	ランプ等の定期的な	よ清掃・交換	D10	4	空調フィルターの清	掃•点検
対	設備保守対策							
來	以佣床与对来							
1		E100	本払去 7777111111111111111111111111111111111	松田(日本)	T210	1	幸 *** *** *** **** **** **** **** ****	/松田(日本)
		E103 E114	高効率照明器具の高効率パッケージの		E10	1	高効率照明ランプの)採用(座内)
Ī	設備導入対策	13114	IN TO VO	> 12(7/1)				
宇結	年度の目標達成	の出温	□ 目標達成し	}-				
大順	十尺少日你是从	2027000	口口は保住派し	/-0				
5	提出年度の地							
目 :	標の有無		無無		1			
	1-1- h/c / 122 4/2 \	ベンチマー		ラン		_	削減率(前年度比)	9/
日標	値等(選択)		建(延床面積当たり)			CO ₂	排出量(総量)	<u>l</u> t
		その他	特	記事項に内容	ど記載			
6	特記事項							
v	, , , , , , ,							

1 事業所等の概要

-																							
事	業所	等	の名	称	ТG	荏原	アビノ	レ															
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	2	5									
					Ŧ	1	4	2	-	0	0	6	3	区	市四	丁村	名	品川	区				
事	業所	等の	所 在	土地	町以	名番	地下	荏原	(4-	2-4													
事	業所等	等の質	正床面	面積		6,	378	.00	m^2		業 ネ ノ								1年度	分] 14	年未満
所	有	•	形	態		自己	所	有] 他	1者月	斤有											
報	告	i	範	囲		建物	のの含	全部] 頦	生物0)— <u>‡</u>	部(ラ	テナ	ント)			〕建	物の		3(そ	の作	也)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務 工場	,					商業複合			物販)			i業施 の他	設(1	飲食	:)	
	本標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	上事刻	美区 :	分		直'	営店			加盟	店		月	該当
前か	年度らの		告页		【追加 エネ	加項	目(重 一等	点対の使	 策)		Lの追 把握		3										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	121	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	235	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t
	総計(④=②+③)	1	236	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	3	36.8	kg - CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等σ	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ) (8=(6/1000)×?)	排出 係数 ®	排出量 ^{※1} (t) ^{®=®×®×44/12}
	都市ガス			Nm ³	29,630.9	45.00	1,333.4	0.014	66.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0	10.1			
7715	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^_	その他の買電(昼夜	用不明の場合を含む。)		kWh	345,722.0	9.76	3,374.2	0.489	169.1
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					4,707.6		235.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,710.0			0.251	0.7
他	公共下水道			m^3	2,299.0	/		0.439	1.0
		合 計				/			1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
ėп 4	か (+ *) の 酸 (+)			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
組系	職体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
-)	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
)义)	11 10 10 00 10 10			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C123	温湿度の適正管理	C109	空室・不在時等の空調停止
		C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C130	エレベータ運転台数の制限
	運用対策			C801	共用部照明のフロアごとの管理
14				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
省工				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ネ				C818	エレベータ運転台数の制限
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	凯 烘 归 宀 牡 熔	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
東	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	乳佐道は身体	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

□ 目標達成した。 実績年度の目標達成の状況

提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有	無	□有■無				
		ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)		CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	ŧ
		その他	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

- ■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E101 高効率照明ランプの採用(屋内)
- E102 蛍光灯へ電子安定器採用
- E126 窓際照明の連続調光制御
- E129 全熱交換機の導入(個別)
- E135 エレベーターのインバータ制御
- E139 進相コンデンサ等による力率改善 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御
- E122 給湯の温水配管の保温の実施
- E137 高効率変圧器への更新・台数集約 ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- C117 便座ピーター等温度の季節別設定【
- 平成30年度に実施した節電対策項目】
- ①照明
- •専用部、共用部照明器具の一部消灯

②その他

- ・暖房便座、エアタオルの使用停止
- 冷水機、製氷機の利用中止
- •不使用時、待機電力を使用する電気機器のコンセントを抜く
- ・OA機器の省エネモード設定

1 ず未川寺ツ帆を	事業所等の概	要
-----------	--------	---

事	業所	等の	名称	芝	兵ビ	ル														
事	業	所 番	子 号	A	0	6	4	5	-	0	0	2	6							
	VII. → ==	t-t-		Ŧ	1	0	8	-	0	0	2	3	区	市町	村名	沿港	X			
事	業 所	等の所	在地	町以	名番	· 地下	芝4-	-9-14	4											
事	業所等	等の延床	下面積		3,	966	.51	m^2	事	業月ネノ	「等レキ	の : _	実 <i>i</i> 使	責年 用 !	度の期間	つ 引	1年度	を分		1年未満
所	有	形	態		自己	小所	有] 他	也者原	斤有									
報	告	範	囲		建物	カの (全部] 殖	≜物0)—‡	部(ラ	テナ	ント)			建物の	一部	(その	つ他)
報	告範囲	の主たる	る用途		事務工場						商業複合			勿販)			商業施 その他		次食)	
		準 産 業 細 分 類			9	1	1	連	運鎖(匕事美	業区:	分		直営	店		加盟	店	п	非該当
前か		の報告)変																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	0	117	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	227	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t
	総計(④=②+③)	0	228	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	3	57.2	${ m kg\text{-}CO_2/m^2}$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{**} ' (t)
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	⑩=®×9×44/12
.chds.l.	都市ガス			Nm ³	36,166.4	45.00	1,627.5	0.014	81.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
2117	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
<i></i>	その他の買電(昼夜)	出不明の場合を含む。)		kWh	299,696.0	9.76	2,925.0	0.489	146.6
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					4,552.5		227.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,901.0			0.251	0.5
他	公共下水道			m^3	1,901.0	/		0.439	0.8
		合 計				/			1.3

※1電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、

⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球 温	暖化	分第	の宝	施狀況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
狙糸	織体制の整備				
) . 18 kda -	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
,	11 -DC DE -> 10 DE	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
	運 用 対 策			C804	共用部のフロアごとの空調の管理
省				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
工				C815	看板照明点灯時間の季節別管理
ネル				C806	その他設備の不使用時の停止
ギー		D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E130	全熱交換器の導入
	7H (Ma)345 - 4 1 1 645	E114	高効率パッケージの採用	E122	給湯の温水配管の保温の実施
	設備導入対策			E137	高効率変圧器への更新・台数集約
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。
--------------------------	--------------	-----------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項	
--------	--

(日本工業規格A列4番)

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	木帽	自路	ビル	,													
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5		0	0	2	7							
事	業所等	等の	所 在	土地	〒 町以	1 名 番	7 步地下	7 谷原	<u>-</u>	0 387-1	0	3	2	区	市町	村	名練思	[区			
事	業所等	の変	正床面	百積			583	.74	m^2	事工	業月ネノ	等レギ	の	実施使	責年用	度期	の 間	1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己]所2	有] 他	也者用	听有					1				
報	告		範	囲		建物	JO) 1	全部	[] 殖	単物の) — ^Ł	部(ラ	テナ	ント)			単物の	一部	(その)他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務工場						商業複合			物販)			新業施 その他	設(館	欠食)	
	本 標 i おける					9	1	1	連	運鎖化	匕事	業区;	分		直営	営店		加盟	店		非該当
前か	年度の			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	102	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑩)	2	198	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に (伴って排出される二酸化炭素の量(③-⑥)	3	2	t
	総 計(④=②+③)	0	200	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	©	339.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の種別		の使用	単位	使用量	係数	(GJ) (S=(©/1000)×⑦	排出 係数 ^⑨	排出量 ^{※1} (t) ^{®=®×®×44/12}
146	都市ガス			Nm^3	36,628.5	45.00	1,648.3	0.014	82.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
7615	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~ ~	その他の買電(昼夜)	- 間不明の場合を含む。)		kWh	237,157.0	9.76	2,314.7	0.489	116.0
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					3,962.9		198.2
その	水道及び工業	用水道		m ³	4,005.0			0.251	1.0
の他	公共下水道			\mathbf{m}^3	4,005.0			0.439	1.8
		合 計							2.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

		11/4	重点対策	- h	114	その他対策	
-		対策番号	対策	:名	対策番号	対策名	
組	織体制の整備						
		Dies		(Z)	Dina	and the second s	> -11m
工,	ネルギー等の	B106	過去のデータによる	傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加え	
使,	用状況の把握				B105	エネルギー使用量の前年	皮比較
_					1		
	VE E LA MAR						
	運用対策						
省	7.0						
エネ							
イル					-		
ギ							
 対		D101	ランプ等の定期的な				
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清	·掃•点検 			
					-		
	設備導入対策						
					1		
Ш							
実糸	 	か状況	□ 目標達成し7	A.,			
実統	責年度の目標達成	たの状況	□ 目標達成し7	μ _τ 			
実 総	責年度の目標達成 提出年度の地			h			
5	提出年度の地			2°C0			
5	提出年度の地	球温暖化	ご対策の目標 ■ 無	こ。 ランク	СО	2削減率(前年度比)	%
5目	提出年度の地標の有無	球温暖化 □ 有 ベンチマー	公対策の目標■ 無ウ区分	ランク			
5目	提出年度の地	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO	2削減率(前年度比)	% t
5 目	提出年度の地標の有無	球温暖化 □ 有 ベンチマー	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク	O_2/m^2 CO		
5 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5目	提出年度の地標の有無	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		
5 目	提出年度の地標の有無 で有無 票値等(選択)	球温暖化□ 有ベンチマーCO₂排出量	二対策の目標重無一ク区分は(延床面積当たり)	ランク kg・Co	O_2/m^2 CO		

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	竹类	芝ビ/	ンレ											
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5		0	0	2	8	T			
	VII. →	tota -	I	- (4	Ŧ	1	0	5	-	0	0	2	2	区	市	町村	十名 港区	
事	業所	等の	所有	E 地	町。以	名 番	地下	海岸	±1−11	1-1								
事	業所等	等の タ	延床市	面積			988	.05	m^2	事	業 済 ノ	等レギ	の = _	実 ; - 使	績生	F 度 期	で 間 ■ 1年度分 □ 1年末	卡満
所	有		形	態		自己	上所有	旨		■ 他	1者月	斤有						
報	出口		範	囲		建物	切の含	产部		■ 建	*物0)— ^F	部 (き	テナ	ント)	□ 建物の一部(その他)	
報	告範囲	の主	こたる人	用途		事務工場						商業 複合			物則	į)	■ 商業施設(飲食) □ その他	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖作	匕事美	業区;	分		直	営店	「□ 加盟店 ■ 非該	善
前か	年度らる		战告 P 变 更															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	O .	47	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	91	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	(3)	1	t
	総計(④=②+③)	0	92	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	92.1	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 一酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の種別		使用	単位	使用量	係数	(GJ) (B=(6)/1000)×⑦	排出 係数	排出量 ^{※1} (t) ⑩=®×⑨×44/12
	都市ガス			Nm ³	19,852.2	45.00	893.3	0.014	44.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
1111	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜	用不明の場合を含む。)		kWh	96,022.0	9.76	937.2	0.489	47.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					1,830.5		91.5
その	水道及び工業	用水道		m ³	2,393.0			0.251	0.6
他	公共下水道			m ³	2,393.0	/		0.439	1.1
		合 計							1.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対	
		対策番号	対策	名	対策番号	劳	策名
組織	体制の整備						
					Dies	and the second	
エネ	ルギー等の	B106	過去のデータによる	傾向の把握	B102		情報を加えて把握
使用:	状況の把握				B105	エネルギー使用	重の削年度比較
					-		
					+	-	
						+	
運	用対策						
	. 714 714 214						
省工							
ネ							
ル							
ギー							
対	# 10 + 1 M						
策 設	備保守対策						
		1 - 2					
設	備導入対策						
実績年	E度の目標達成	で状況	□ 目標達成し7	- -0			
_ +	日山左座の地	11、2011日4年。	*				
	是出年度の地						
目標	の有無	□有	無無		Ta	n Wall States	1
		ベンチマー		ラン		O ₂ 削減率(前年度比	%
目標値	1等(選択)		は(延床面積当たり)			O ₂ 排出量(総量)	t
		その他	特言	己事項に内容	を記載		
6 华	寺記事項						

1 事業所等の概要

_	3. 74	4771 11	ノルス	-											_	_					
事	業所	等の	名系	作 南	青山	ビル	/														
事	業	所	番号	A	0	6	4	5		0	0	3	0	T							
				₹	1	0	7	-	0	0	6	2	区	市	町木	寸 名	港区	ζ			
事	業所	等の月		也町以	名番	地下	南青		-12	2-5											
事	業所等	等の延	床面和	貞	2,	108	.85								年度			1年度	を分		1年未満
所	有	形			自己	三所	有] 他	也者原	听有	1									
報	告	箪	i J	E =	建物	カの3	全部	[]	は物の	Ŋ— <u>†</u>	部()	テナ	ン	ト)] 龚	単物の	一部	3(そ	の他)
机	告範囲	lの 主き	- ス田ン	<u>.</u>	事務	所					商業	き施	設(物	坂)		一译	所業施	設(1	飲食)
					工場	<u>ヨ</u> 刃					複合	产施	設			1	1 7	一の他	ı		
	本標おける				9	1	1	連	鎮伯	上事刻	業区	分		ļ	直営店	与		加盟	店		非該当
前	年度	の報グ	告内名	Z.																	
	50																				
				1																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	142	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	7	276	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3)	4	t
	総計(④=②+③)	(1)	280	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	130.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計		// E E	dram steet	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{**1} (t)
_	Tim I				6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
علطيا.	都市ガス			Nm ³	62,328.9	45.00	2,804.8	0.014	139.9
燃料	その他(LPG)	15		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
7515	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の悪約8000	昼間(8時~22時)		kWh	21,432.0	9.97	213.7	0.489	10.5
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	16,384.0	9.28	152.0	0.489	8.0
^\	その他の買電(昼夜)	出不明の場合を含む。)		kWh	242,310.0	9.76	2,364.9	0.489	118.5
規則	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					5,535.5		⁽ⁱ⁾ 276.8
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	6,863.0			0.251	1.7
の他	公共下水道			\mathbf{m}^3	6,863.0			0.439	3.0
	***	合 計							4.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組糸	織体制の整備				
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
-		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運 用 対 策			C801	共用部照明のフロアごとの管理
N.				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
省エネ				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	-17 th to the 1 to	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E110	高効率モータの導入(空調用)

実績年度の目標達成の状況	□目標達成した。
--------------	----------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		==

特記事項

- ■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策) E111ポンプ・ファンのインバータ制御 E122283場の温水配管の実施E124更新に合わせた高効率機器の採用
- 【平成30年度節電対策項目】
- ①照明
- •運営会社による共用部及び未使用部の照明のフロア毎の管理
- ②空調
 ・フロア及び各室毎の管理

1 事業所等の概要

-																						
事	業所	等の	名称	TG	立川	ビノ	レ															
事	業	所 番	子 号	A	0	6	4	5		0	0	3	1			-						
				₹	1	9	0	\forall	0	0	1	2	区	市	丁 村	名	立川	市				
事	業所	等の所	在地	町り以	名 番	地下	曙橋	3-	6-1	3												
事	業所等	節の延床	三面積		10,	603	.18	m^2	事	業所ネル	「等 レギ	の 	実 <i>;</i> 使	漬 有 ! 用	E 度 期	の間		1年度	分		1年月	卡満
所	有	形	態		自己	上所不] 他	1者前	有											
報	告	範	囲		建物	カの生	产部] 建	物0)一岩	邪(ラ	テナ	ント)			〕建	物の-	一部	(その	の他)	
報	告範囲	の主たる	る用途		事務 工場						商業 複合			物販)			業施記 の他	殳 (食	欠食))	
		準 産 業 細 分 類		6	9	1	1	連	鎖化	占事 差	美区2	分		直	営店			加盟原	Ė		非該	当
前か		の報告)変		【追加 エネ 運用 【追加	n項 ルギ 対策 n項	目(重 一等 ::C1	点対 の使 23、(の他	策) 用状	】 況の 、C81			6, B	107									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	273	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	(2)	529	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	4	t
	総計(④=②+③)	1	533	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	49.8	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ) (B=(6)/1000)×?	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
	都市ガス			Nm^3	124,584.4	45.00	5,606.3	0.014	@=8×9×44/12 279.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^4	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	510,986.0	9.76	4,987.2	0.489	249.9
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					10,593.5		529.4
その	水道及び工業	用水道		m ³	5,646.0			0.251	1.4
の他	公共下水道			m^3	6,710.0	/		0.439	2.9
		合 計							4.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		7	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
60 K	かん り の 軟 供			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
作丑 有	織体制の整備			A405	ビル全体の推進体制の整備
-) 13 6-6-	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー 等の 用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
	11 1/C 1/C 02 1/C 1/E	B107	主要設備の使用状況の把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C123	温湿度の適正管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
省		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
工				C801	共用部照明のフロアごとの管理
ネ				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
中	京 佣 木 寸 刈 束	D105	換気フィルターの清掃・点検		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E125	高輝度誘導灯の導入
	以 州 等 八 刈 水	E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO2削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg - CO_2/m^2	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

- ■エネルギー等の使用状況の把握についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- B108エネルギー等情報の対策への活用
- ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- C104採光を利用した消灯の実施
- C111予熱・予冷時の外気導入の停止
- C816ポンプ・ファンの流量、圧力調整
- C812 自動販売機の不要時の停止
- ■設備保守対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- D102セントラル空調のフィルター清掃
- ■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
- E101高効率照明ランプの採用(屋内)
- E106高効率照明ランプの採用(屋外)
- E107蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)
- E108高効率照明器具の採用(屋外)
- E110高効率モータの導入(空調用)
- E111ポンプ・ファンのインバータ制御
- E119潜熱回収型ガス給湯器等の採用
- E122給湯の温水配管の保温の実施
- E126窓際照明の連続調光制御
- E129全熱交換機の導入(中央)

1 事業所等の概要

事	業所	等の	名称	桜	- 丘	四丁	目															
事	業	所	番 号	A	0	6	4	5	-	0	0	3	2	T								
事	業所等	等の別	f 在 地	〒 町以	2 名 番	0 排下	6 桜ケ	<u>-</u> 近4	0 -33	0	1	3	区	市	町木	寸 4	名多	摩市				
事	業所等	の延り	末面積			112	.49	m^2	事工	業月ネノ	等レギ	の : _	実 <i>.</i> ・ 使	績生用	手 月] 期	支の	D 引	1年	三度分			1年未
所	有	形	態		自己	上所る	与] 他	也者反	斤有	1										
報	告	範	进		建物	カの 🖆	全部] 殞	售物0)— <u>1</u>	部(ラ	テナ	ント)			建物	のー	部(その)他)
報	告範囲	の主た	る用途		事務工場						商業複合			物則	<u>(</u>)			商業 その	施設 他	飲	食)	
	本標準				9	1	1	連	鎖化	匕事美	美区 :	分		直	営	吉		〕加	盟店	V		非該
前か	年度の	か報告 変																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	O	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0	t
	総計(④=②+③)	1	3	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	26.6	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計		7		熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ) (B=(6)/1000)×⑦	排出 係数	排出量 ^{**!} (t) ^{®=®×®×44/12}
	都市ガス			Nm ³	225.2	45.00	10.1	0.014	0.5
燃料	その他(LPG)			kg	110.9	50.80	5.6	0.016	0.3
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()			+ = =	0.0			17 7	
7615	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の電視的ない。	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜)	間不明の場合を含む。)		kWh	5,200.0	9.76	50.8	0.489	2.5
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
1.5		合 計					66.5		3.4
その	水道及び工業	用水道		m ³	111.0			0.251	0.0
他	公共下水道			m^3	111.0	/		0.439	0.0
		合計						/	0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策				その他を		
		対策番号	交	計策名		対策番号		対策名	
組絹	戦体制の整備						+		
		B106	過去のデータに	よる傾向の把	握	B102	関連他者からの	の情報を加えて持	巴握
エネ	ネルギー等の								
史 月	用状況の把握								
	第 田 計 第								
	運用対策								
省									
エネ									
ルギ	0								
1									
対策	設備保守対策								
	以黑水门对来								
	設備導入対策								
					7				
実績	年度の目標達成	の状況	□ 目標達成	した。					
5	提出年度の地	1 球温暖化	対策の目標						
		口有	■無						
	2 11 7/1	ベンチマー			ランク	co)2削減率(前年度	比)	7%
目標	原値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC		-) ₂ 排出量(総量)		t
I 124	1 1 1 1 1	その他		寺記事項に			24		
-		CAL		7110-7-7(-	1 1-11 6	10.490			
6	4+								
	特記事項								

1 事業所等の概要

事	業所	等の名	名 称	五月	灵田	ビル	,													
事	業	所 番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	3	8	3						
事	業所	等の所?	在地	丁町以	1 名 番	4 地	1 東五		0 5-22	0 2-27	2	2	X	市	町村	寸彳	名 品川区			
事	業所等	の延床	面積		7,	772	.23	m^2							年 度			分		1年未満
所	有	形	態		自己	所	有] 他	也者后	听有									
報	告	範	囲		建物	カのき	产部	[]	単物の	クーi	部(:	テナ	ーント	.)		□ 建物の	一部((その	他)
報	告範囲	の主たる	用途		事務工場						商業複合			物則	反)		□ 商業施□ その他		(食)	
		声産業 細分類		6	9	1	1	連	鎖化	上事	業区	分		直	「営店	Ė.	□ 加盟	店		非該当
前か		か報告 変 更																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	1	123	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	239	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	2	t
	総計(④=②+③)	0	241	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	3	30.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計		tt m B	FT 161.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{**1} (t)
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	10=8×9×44/12
داها.	都市ガス			Nm ³	28,171.8	45.00	1,267.7	0.014	63.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
2618	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
7,4	その他の買電(昼夜)	制不明の場合を含む。)		kWh	359,700.0	9.76	3,510.7	0.489	175.9
規則	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					4,778.4		239.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,074.0			0.251	1.0
の他	公共下水道			\mathbf{m}^3	4,074.0	/		0.439	1.8
		合 計							2.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策	11140-0	その他対策	
		対策番号	対策名	対策番	対策名 対策名	
組織	体制の整備					
_				D100	明まル本人との味知される。	r tm tE
エネ	ルギー等の			B102	関連他者からの情報を加えて	、把握
	状況の把握					
_		C115	事務用機器を業務終了時に停	止 C101	空室・不在時等のこまめな消	ŀT'
		0115	于4为用1风台·C 未4为术: 1 时(C)了	C107		
-1	110			C107		. 1(/)
- 1				0105	至主、小江时 4.65 云则 b. T.	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	軍 用 対 策				-	
1	至				+	
省						
エネ						
ル						-
ギー		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守	占給
対		D103	1英ペンイルン ジョ 前 赤坂	D100	この 西欧 畑 の た 別は かな 内 り	71175
策記	设備保守対策				-	
					-	
-		E114	高効率パッケージの採用			
		12114	同郊土 77 2 0 1 1 1			
ii.	设備導入対策					
_						
実績	年度の目標達成	で状況	□ 目標達成した。			
			11.66			
	提出年度の地					
目核	票の有無	口有	無			-1
		ベンチマー			CO ₂ 削減率(前年度比)	9/
目標	値等(選択)	CO ₂ 排出量	ま(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
		その他	特記事項に内	可容を記載		
6	特記事項					

1 事業所等の概要

-	- J. /r	(1) (1	الإلمار ك -	-	_															_			
事	業所	等	の名	称	三車	汗茶,	屋ビ	゛ル															
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	3	4	I								
	₩ =r	kk a	=r +	- tile	Ŧ	1	5	4	-	0	0	2	4	区	市	町木	寸 名	5 世	田谷	区			
事	業所	等の	別 任	: 地	町。以	名 番	地下	三車	·茶屋	₫1-22	2-11												
事	業所等	争の致	正床面	面積			993	.22	m^2	事	業 戸ネノ	「等 レギ	の :	実 ; · 使	績	年月期	き の] 14	 手度分	ì	1	年未満
所	有		形	態		自己	所	有] 他	1者形	斤有	T										
報	告		範	囲		建物	カのき	全部] 殞	き物の) — ‡	部(ラ	テナ	ン	\)			建物	カのー	部(-	その	他)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務工場						商業複合			物	坂)			商業	É施設	(飲:	食)	
	本標おける				6	9	1	1	連	運鎖 化	上事業	_		IX C) į	直営店	与			盟店	2		非該当
	年度 ら 0																						

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	0	12	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	24	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
	総計(④=②+③)	(4)	24	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<u></u>	24.1	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	電別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量**
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		使用		6	0	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) :::(0)=(8)×(9)×44/12
Link	都市ガス			Nm ³	1,399.7	45.00	63.0	0.014	3.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時∼22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	亥間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^\	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	42,738.0	9.76	417.1	0.489	20.9
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし	値 ※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					480.1		24.0
その	水道及び工業月	用水道		m ³	943.0			0.251	0.2
の他	公共下水道			m^3	943.0			0.439	0.4
	•	合 計							0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
阳岩	織体制の整備				
LTT /	₩ 14 101 ^> 正 1/H				
·	ネルギー等の			B102	関連他者からの情報を加えて把握
上 /	用状況の把握				
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ルギ					
1				D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	設備保守対策				
水	以州水 1 7 7 7				
		E114	高効率パッケージの採用		
		E114	高効率ハッケーンの休用 		
	設備道入公等	E114	同効率ハッケーンの採用		
	設備導入対策	E114	同効率ハッケーンの採用		
	設備導入対策	E114	同効率ハッケーンの休用		
12 (13					
実績	設備導入対策 責年度の目標達成		□目標達成した。		
	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。		
5	責年度の目標達成 提出年度の地	の状況球温暖化	□ 目標達成した。		
5	責年度の目標達成 提出年度の地	の状況 球温暖化□ 有	□ 目標達成した。ご対策の目標■ 無	7 (00	。尚小藏家(前年度HV)
5 目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー	□ 目標達成した。試対策の目標■ 無ク区分ランク		
5 目	責年度の目標達成 提出年度の地	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	2削減率(前年度比) % 2排出量(総量) t
5 目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー	□ 目標達成した。試対策の目標■ 無ク区分ランク	CO ₂ /m ² CO	
5 目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	
5 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	
5 目	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	□ 目標達成した。 対策の目標 ■ 無 ク区分 (延床面積当たり) はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	CO ₂ /m ² CO	
5目目標	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無 標の有無 標値等(選択)	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量 その他	□ 目標達成した。	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無標の有無 標値等(選択) 特記事項	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量 その他	□ 目標達成した。	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無標の有無 標値等(選択) 特記事項	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量 その他	□ 目標達成した。	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無標の有無 標値等(選択) 特記事項	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量 その他	□ 目標達成した。	CO ₂ /m ² CO	
5 目 目標 6	責年度の目標達成 提出年度の地標の有無標の有無 標値等(選択) 特記事項	の状況 球温暖化 □ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量 その他	□ 目標達成した。	CO ₂ /m ² CO	

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	橋場	易ビル	ル													
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5		0	0	3	5						
事	業所	垒σ) 所 右	〒 抽	Ŧ	1	1	1	-	0	0	2	3	区	市町	丁村	名 台東区			
	* 1)1	प 🐪	, 171 14	- 74	町。以	名 奞	下地下	橋場	 2-1-											
事	業所等	手のう	延床译	釘積		1,	374	.87	m^2	事	業月ネノ	等レキ	0	実を使	漬 年	度期	の □ 1年月	度分	1 1	l年未満
所	有		形	態		自己	上所る	有	[1者月									
報	告		範	囲		建物	カの全	产部		〕	生物0	り一章	部(ラ	テナ	ント)		□ 建物の	一部	(その	他)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務 工場						商業複合			物販)	□ 商業施□ その他	b設(飲	(食)	
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	上事刻	業区:	分		直	営店	□加盟	居店		非該当
前か	年度の		设 生 内 変 更																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	0	13	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	25	t
二酸化炭素排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=®)	3	0	t
	総計(④=②+③)	1	25	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	18.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			12/11	V	6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	@=8×9×44/12
LAb	都市ガス			Nm ³	3,799.9	45.00	171.0	0.014	8.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
7711	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌月8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
71	その他の買電(昼夜	り不明の場合を含む。)		kWh	34,845.0	9.76	340.1	0.489	17.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					511.1		25.6
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	390.0			0.251	0.1
の他	公共下水道			m^3	390.0			0.439	0.2
		合 計							0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

組工吏省エネルギー対策様ル状農ば情ば保	一等の加握対策	C115	対策名 事務用機器を業務終了時に停止	对策番号 B102 C101 C109	対策名 関連他者からの情報を加えて把握 空室・不在時等のこまめな消灯 空室・不在時等の空調停止
エb ・	一等の加握対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
エb ・	一等の加握対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
エb ・	一等の加握対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
東	の把握 対 策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
東	の把握 対 策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
東	の把握 対 策	C115	事務用機器を業務終了時に停止		
省エネルギー 対			事務用機器を業務終了時に停止		
省エネルギー 対			事務用機器を業務終了時に停止		
省エネルギー 対				C109	空室・不在時等の空調停止
省エネルギー 対					ž –
省エネルギー 対					Ť
省エネルギー 対					
エネルギー対	. 字 対 第				
エネルギー対	字分第				
ル ギ ー 対	字分第				
ギ 対	字対策				
対 策 設備保	字分第				
策設備保	字分第	-		D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E114	高効率パッケージの採用		
設備導	八 対策				
実績年度の	目標達成	の状況	□ 目標達成した。		
5 提出年	下度の地	球温暖化	公対策の目標		
目標の	有 無	□有	無無		
		ベンチマー	-ク区分 ラン:	7 CO	2削減率(前年度比) %
目標値等(選	選択)	CO ₂ 排出量	は(延床面積当たり) kg-(CO ₂ /m ² CO	2排出量(総量) t
		その他	特記事項に内容		
_		CANIE	1410 to X101 141	C 11049V	
6 特記事	111				
- 14 110	F X				

1 T 1/1 TT 1/1 M 9	1	事業	所等	の根	无要
--------------------	---	----	----	----	----

事	業所	等の	名 和	尔北	品川	ビル	,			L											
事	業	所	番号	A	0	6	4	5		0	0	3	6								
重	業所	笠の i	近 在 t	=	1	4	0	9	0	0	0	1	区	市四	「村	名	品川	X.			
1	* 171	4 V) 1.	71 11 - 2	以以	名 葎	下地下	北品	۱۱۱ <u>۵</u> -	-7-29	9											
事	業所等	の延	床面和	責	1,	362	.05	m^2	事工	業別ネノ	で等レキ	の :	実 <i>i</i> · 使	漬 年 [用	度期	の間		年度を	}		1年未満
所	有	形	į į	ķ 🔳	自己	い所を	有		□ 他	1者月	沂有	7									
報	告	箪		Ħ	建物	カのミ	全部] 葅	き物の)— <u>₽</u>	部(ラ	テナ	ント)			建	物の一	-部(その	他)
報	告範囲	の主た	こる用語	£ _	事務工場						商業複合			物販)			業施設 の他	է(飲	(食)	
	本 標 3 お け る				9	1	1	連	鍾俏	上事訓	業区	分		直,	営店	Î		加盟店	i		非該当
前か	年度の																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	0	35	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	(3)	0	t
1	総計(④=②+③)	(1)	69	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	50.6	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等σ	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ) (B=(0/1000)×⑦	排出 係数	排出量 ^{**†} (t) ⑩=®×⑨×44/12
	都市ガス			Nm^3	13,408.5	45.00	603.4	0.014	30.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
	一般送配電事業者の環境的ない。	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
^\(その他の買電(昼夜	川不明の場合を含む。)		kWh	81,074.0	9.76	791.3	0.489	39.6
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					1,394.7		69.7
その	水道及び工業	用水道		m ³	1,054.0			0.251	0.3
他	公共下水道			m^3	1,054.0	/		0.439	0.5
		合 計							0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

狙織			重点対策		その他対策
狙織		対策番号	対策名	対策番号	対策名
	体制の整備				
エネ	ルギー等の			B102	関連他者からの情報を加えて把握
吏 用	状況の把握				
7		C115	事務用機器を業務終了時に停」	E C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C109	空室・不在時等の空調停止
10	運 用 対 策				
	E /11 刈 來				
省工					
ネ					
ルギー					
1				D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策記	设備保守対策				
-		E114	高効率パッケージの採用		
		13114	INDUMENTAL OF A ANIMALI		
ā	设備導入対策				
1/45/	年度の目標達成	の生治	□ 目標達成した。		
· 一个小只	1	マンツハント	□ 日が住屋のに。		
5	提出年度の地		対策の目標		
1 t	票の有無	□有	無無		
		ベンチマー			2 削減率(前年度比) %
目標信	直等(選択)			S) ₂ 排出量(総量)
		その他	特記事項に内	容を記載	
	# = = = = = = = = = = = = = = = = = = =				
6	特記事項				

1 事業所等の概要

-	7 /14	171 11 12	100	_							_							
事	業所	等の	名 称	中野	ごル													
事	業	所 番	号	A	0 6	4	5	-	0	0	3	7						
	111/c →r 4		4 . 14		1 6		-	0	0	1	4	区	市町	村。	名 中野区	•		
事	栗 川 🕯	等の所	在地	町 名以	番	也 南台	1 3-98	8-2										
事	業所等	の延床	面積		1,51	8.87	m^2						漬 年 [用 ‡			年度分		1年未満
所	有	形	態		1己月	有] 他	1者所	有								
報	告	範	囲	■ 列	き物の	全部		〕建	物の) 一	邪(ラ	テナ	ント)		□ 建物	物の一部	羽(その	の他)
報	告範囲	の主たる	5用途	100	事務月 二場	Í				商業 複合			物販)		□ 商業 □ その	É施設()他	飲食)
		準産業 細分類		6	9 1	. 1	連	運鎖化	/事業	美区2	分		直営	店	口加	盟店	H	非該当
前か		の報告の変り																
/5.	•) •)	/ 及 3	×															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	0	55	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	107	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	2	t
	総計(④=②+③)	0	109	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	70.4	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 [※] (t)
			泛而		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
LAb	都市ガス			Nm ³	22,699.0	45.00	1,021.5	0.014	50.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)	y y		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
7715	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~ V	その他の買電(昼夜)	ー 間不明の場合を含む。)		kWh	116,174.0	9.76	1,133.9	0.489	56.8
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計					2,155.3		107.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,888.0			0.251	1.0
の他	公共下水道			m ³	3,888.0			0.439	1.7
	***************************************	合 計							2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策	1	その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
\$日 \$	織体制の整備				
ATT 1					
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
	ネルギー等の				
) (用状況の把握				
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	11 5 5 5 11			C109	空室・不在時等の空調停止
	Y I				
	運用対策				
省	[4]			-	
エネ	1 21				
イル					
ギ	-			D100	フのは記性の合物はした方も LA
 対				D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	設備保守対策				
		E114	高効率パッケージの採用		
	設備導入対策				
	以 州 子 / / / / /				
46	また座の日極法は	الرجليات خ	□ 目標達成した。		
天前	責年度の目標達成	くの状況	□ 目標達成した。		
5	提出年度の地	1 我担	が発の日暦		
_					
目	標の有無		無無	Igo	W(1 X 15 + +
		ベンチマー			2削減率(前年度比) %
目標	原値等(選択)				2排出量(総量) t
		その他	特記事項に内容を	を記載	
6	特記事項				

1	事業	所等	の棚	要

事	業所	等	の名	称	北區	打ビル	ル															
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	3	8								
事	業所	等の	所有	王 地		1 名 番	7 地	9 錦2-	-16-7	0	0	8	2	区	市	町村	名	練馬区				
事	業所等	手の延	ば 床 i	面積	以	1,	029	_		事	業所ネノ	「 等 レ ギ	<i>の</i>	実 <i>i</i> 使	績 ^在	F 度 期	の間		年度分	,	14	年未満
所	有		形	態		自己	1所	有] 他	1者月	斤有					- 7					
報	告		範	囲		建物	カの (全部] 建	き物の)— [£]	部(ラ	テナ	ント)		〕建物	勿の一	部(そ	の作	<u>九</u>)
報	告範囲	の主	たる)	用途		事務 工場						商業複合			物販	()		_	Ě施設 ○他	(飲食	£)	
	本 標 おける					9	1	1	連	鎖化	匕事美	美区 :	分		直	営店	ī	口力	四盟店		則	該当
前か	年度らの		告戶更																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(II)	33	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	65	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	0	t
	総計(④=②+③)	(1)	65	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	63.1	${ m kg\text{-}CO_2/m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

-			推計		//- E	e-m stee	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の使用	単位	使用量	係数	(GJ) ®=(®/1000)×⑦	排出 係数	排出量**1 (t) ®=®×®×44/12
	都市ガス			Nm ³	11,037.3	45.00	496.7	0.014	24.8
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
Tris	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
~~	その他の買電(昼夜)	。 間不明の場合を含む。)		kWh	83,481.0	9.76	814.8	0.489	40.8
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	值※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合計					1,311.5		65.6
その	水道及び工業	用水道		m ³	842.0			0.251	0.2
の他	公共下水道			m ³	842.0			0.439	0.4
		合 計							0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

^{※2} ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組糸	職体制の整備				
77.	ネルギー等の			B102	関連他者からの情報を加えて把握
使	用状況の把握				
T		C115	事務用機器を業務終了時に停止		空室・不在時等のこまめな消灯
				C109	空室・不在時等の空調停止
e15	運 用 対 策			-	
省エコ					
ネルビ					
ギーサ				D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	設備保守対策				
		E114	高効率パッケージの採用		
	設備導入対策				
		-			
主紹	上 賃年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。		
5 	提出年度の地標の有無	□ 有	対策の目標 ■無		
_		ベンチマー			2削減率(前年度比) %
			1-0	CO_2/m^2 CO	2排出量(総量) t
目標	票値等(選択)	CO ₂ 排出量			
目標	票値等(選択)	CO₂排出量 その他	特記事項に内名		
	禁値等(選択) 特記事項				
_					
_					
6		その他	特記事項に内名		
6	特記事項	その他	特記事項に内名		
6	特記事項	その他	特記事項に内名		
6	特記事項	その他	特記事項に内名		

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	TG	両国	アノ	°	<u>۲</u>													
事	業	所	番	号	A	0	6	4	5	-	0	0	3	9								
					Ŧ	1	3	0	-	0	0	2	1	区	市町	村名	3 墨印	区				
事	業所	等の	所 在	地	町:以	名 番	地下	緑2	-2-	-4												
事	業所等	等の 延	正床面	ī積		1,	885	.34	m^2	事	業月ネノ	下等レキ	<i>の</i>	実施使	責年	度 0期 間		1年度	分		1年未	ミ満
所	有	•	形	態		自己	所	有		〕他	也者原	听有										
報	告	1	範	囲		建物	1の全	全部] 建	き物の) — i	部(ラ	テナ	ント)		三 友	単物の	一部	(その	り他)	Ξ
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務 工場						商業複合			勿販)			新業施 その他	設(食	欠食)		
	本 標 おける				6	9	1	1	連	鎖化	匕事	業区	分		直営	店		加盟	店		非該	:当
	年度らの		告内	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(T)	7	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	15	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
	総計(④=②+③)	(1)	15	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(3)	7.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{***} (t)
			12/13		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	@=8×9×44/12
Lab	都市ガス			Nm ³	5,889.8	45.00	265.0	0.014	13.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他()				0.0				
TOS	その他()				0.0				
91	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜)	川不明の場合を含む。)		kWh	4,460.0	9.76	43.5	0.489	2.2
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
		合 計				/	308.6		15.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	676.0	/		0.251	0.2
の他	公共下水道			m ³	676.0	/		0.439	0.3
		合 計							0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネル:	制の整備 ギー等の 児の把握	対策番号	対	策名	対策	番号	対策	5名
エネル:	ギー等の							
エネル:	ギー等の							
エネル:	ギー等の							
エネル: 使用状;	ギー 等 の 況 の 把 握				-			
エネル: 使用状; ———	ギー等の況の把握							
使用状	児の把握							
		-			_	-		
					_	_		
V755 [TI AL MAY					_		
運	刊 対 策					_		
省								
エ						_		
ネル	- 1					_		
ギー								
対		D101	ランプ等の定期的	りな清掃・交換	<u>A</u>			
策設備	保守対策					_		
		21 1	6					
設備	導入対策							
			<u> </u>					
実績年度	の目標達成	の状況	□ 目標達成	した。]			
,, ,		,			1			
5 提出	出年度の地	球温暖化	対策の目標					
目標(の有無	口有	無無					
		ベンチマー	ク区分		ランク	CO ₂ 削》	咸率(前年度比)	%
目標値等	(選択)	CO。排出量	(延床面積当たり)	-	kg-CO ₂ /m ²	_	出量(総量)	t
H WIE 1	(その他			内容を記載	1 - 2011		
		-C 07/1E	17.	加尹次に	71年で山駅	_		
6 特証	巴事項							
O 10 HI] 平仅							